SHARP

取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

形名 **BD-HP35**（ビー ディー エイチ ピー）

x.v.Color
お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（**5** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 取扱説明書では、「ブルーレイディスクプレーヤー　BD-HP35」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 取扱説明書の操作手順では、おもにリモコンを使って説明しています。

もくじ

確認
準備
基本
再生
接続
各種設定
参考

はじめに

本機をお使いになる前に知っていただきたいことや操作のための準備について説明してします。

確認する

準備する

基本操作

使ってみよう

再生する

接続と設定 ご自分で接続するときはここからお読みください。

接続する

各種設定をする

ファミリンクの設定をする

ネットワークの設定をする

IP コントロール

USB メモリーのデータ消去

ソフトウェアの更新

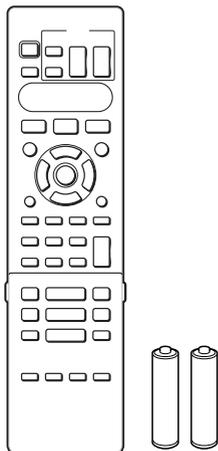
こんなときは 困ったときに役立つ情報です

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

付属品

付属品

・箱を開けて、本機とつぎの付属品がそろっているか確認してください。

リモコン× 1 個、単 4 形乾電池× 2 個

使いかたは **16** ～ **17** ページ

・ 電池を交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

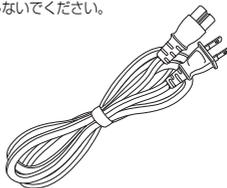
取扱説明書※

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manual in Japanese only.

保証書

本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

電源コード（約 2m）× 1 本

注意：
付属の電源コードは本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

使いかたは **18** ページ

HDMI ケーブル（HIGH SPEED（カテゴリー 2）／約 2m）× 1 本

使いかたは **54**、**55**、**57**、**58** ページ

無線 LAN アダプター× 1 個

使いかたは **60** ページ

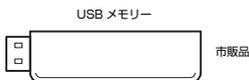
市販の USB メモリーについて

• 本機の外部メモリー端子に装着する（30 ページ）

市販の USB メモリーが必要です。

USB2.0（2GB 以上）をご購入ください。

USB メモリー

市販品

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

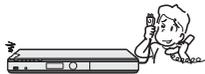
しなければならないことを表しています。

⚠警告

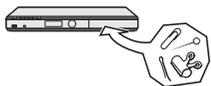
煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

・異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

内部に物や水などを入れない

・本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

・異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

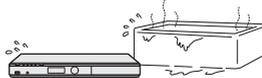
本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

・水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

・水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

・風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V 使用

次ページへつづく ▶▶▶

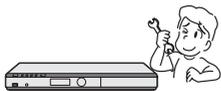
⚠警告

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

• 感電の原因となります。

接触禁止

キャビネットは絶対に開けない

• 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

• 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止

禁止

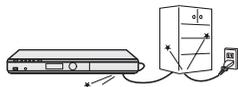
電源コードを破損するようなことはしない

• 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり､引っ張ったり､加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

• 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

• 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

• そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

無線 LAN 機能は病院内で使用しない

• 医療機器の誤動作の原因となることがあります。

禁止

無線 LAN を使用するときは心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する

• 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

距離に注意する

⚠注意

重いものを置かない

- 本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

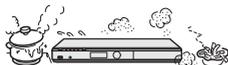
- 本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

- ディスクトレイの上にものを置かないでください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

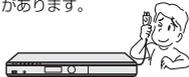
禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

次ページへつづく ▶▶▶

⚠注意

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

ディスクトレイ開閉口に手を入れない

・小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

・飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

・スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

・突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

・安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3 年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

・本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

タコ足配線をしない

・感電・火災の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

・電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

・間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

・病状が悪化する原因となることがあります。

禁止

3D 映像の視聴年齢は、およそ５～６歳以上を目安にする

・お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

お子様の視聴に注意する

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め適度な休憩をとる

・視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

視聴を中止する

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる

・長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

休憩をとる

重要

・お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

重要 必ずお読みください

■ 保証について……………………本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ 再生の制限について………本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

免責事項

・お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時のお願い

ほこりや煙を避けてください

・不安定な場所や振動の多い場所やほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

設置するときは水平に置いてください

・立てて置いたり、逆さまにするなどしたときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

・本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。

・本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。

・ディスクトレイの上に物を置かないでください。

接続機器について

・本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

取扱いはていねいに

・落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

使用時のお願い

高温の場所で使用しないでください

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

・発熱する機器の上には本機を置かないでください。

・直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

電源が入っているときは次の点にご注意ください

・電源プラグをコンセントから抜かない
・本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
・本機を移動させない

故障の原因となります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

・静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

使用温度について

・室温が 5℃～ 35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃以内に保つことをおすすめします。
・湿度の高いところでは使用しない
・温度差の激しいところでは使用しない

磁気や電磁波妨害について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。
- 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使わないでください。

磁気の影響を受けたり、電磁波妨害などにより、再生時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。
また、画面の色が乱れたり、ゆれたりすることがあります。

国外では使用できません

- 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では再生可能地域番号や放送方式が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

長時間ご使用にならないときは

節電について

- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

結露（つゆつき）について

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、本機内部やピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
  - ·暖房をつけた直後。
  - ·湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - ·冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

つゆがつくと

信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。
  また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

お手入れについて

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

- 殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽くふき取ってください。化学ぞうきん（シートタイプのウェット、ドライのものを含む）を使用されますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

次ページへつづく ▶▶▶

本機の取り扱いに関するご注意とお知らせ

本機の電源について

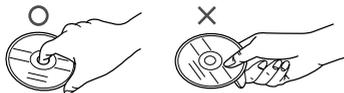
・電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数十秒程度は動作しない場合があります。

キャビネットについて

・本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いはていねいに

・記録面（再生面）には手を触れないでください。

・ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて

・ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

・レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
修理は、お買い上げの販売店またはお客様相談センター（**93** ページ）にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD・CD）の保管のしかた

・ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

・直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

・落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

・ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

・以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
・暖房をつけた直後。
・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと
ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには
ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

無線 LAN 使用時のご注意

・本機を無線で LAN に接続するには、本機に付属の無線 LAN アダプターと無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（市販品）とで通信を行います。

無線 LAN を使用する場合は、次の点にご注意ください

・本機では、以下の機器、または無線局と同じ周波数帯を使用しますので、近くで使用しないでください。
　電波の干渉が発生する可能性があるので、通信ができなくなったり、通信速度が下がったりする場合があります。
　○ ペースメーカー、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
　○ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
　○ 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や、特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに構内無線局から離す、または無線ＬＡＮ機能を停止したうえで、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。
　シャープお客様相談センター（→ 93 ページ）
・携帯電話、PHS、ラジオの近くではできるだけ使用しないでください。
　携帯電話、PHS、ラジオなどは、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用していますので、これらの機器を近くで使用しても、無線 LAN の通信およびこれらの機器の通信には影響しません。
　ただし、これらの機器を無線 LAN 製品に近づけた場合は、無線 LAN 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
・間に鉄筋や金属、コンクリートがあると通信できません。
　本機で使用している電波は、一般の住宅で使用されている木材やガラスなどは通過しますが、鉄筋、金属、コンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。それらが部屋の壁やフロア間に使用されている場合は、通信ができません。
・5.2GHz/5.3GHz 帯の電波を使って、屋外で通信をしないでください。
　法令により、5.2GHz/5.3GHz 帯無線機器を屋外で使用することは禁止されています。
・無線 LAN アダプターは無線 LAN 機器としてお使いください。
・日本国内でのみ使用できます。
・利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。
　無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあります。

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

無線 LAN 対応ブロードバンドルーター・アクセスポイントについて

・802.11n（2.4GHz ／ 5GHz 同時使用可) の無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5GHz でのご使用をおすすめします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
・無線 LAN ルーター・アクセスポイントの電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5 秒以上待ってから電源を入れ直してください。詳しくは、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく ▶▶▶

2.4 GHz 無線 LAN 表記の意味について

「2.4」　：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を示す
「DS/OF」：変調方式 DS-SS 方式 /OFDM 方式を示す
「4」　：想定干渉距離が 40 m以下であること
「---」　：2.400 GHz ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

本機が対応する無線 LAN 規格について

• 本機は、下記の記号に記載された規格で採用された無線通信チャンネルに対応した製品であることを意味します。無線アクセスポイントについても、この記号がある製品でご使用いただくことをおすすめします。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

J52 W52 W53 W56

タイプ	チャネル	周波数帯域
W52	36,40,44,48ch	5.2 GHz 帯 (5150-5250 MHz)
W53	52,56,60,64ch	5.3 GHz 帯 (5250-5350 MHz)
W56	100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140ch	5.6GHz 帯 (5470-5725 MHz)

無線 LAN の性能表示等の記載について

• 本機の通信速度（300/54/11 Mbps）についての記載は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格による理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
• 実際のデータ転送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況など）に影響します。
• [IEEE802.11n] 規格に準拠した製品のため、他社のドラフト準拠製品との通信を保証するものではありません。

機器認定について

• 付属の無線 LAN アダプターは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、無線 LAN アダプターに以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。
  • 分解 / 改造する
  • 無線 LAN アダプター底面記載の定格銘板を消す
  • 5.2 GHz/5.3 GHz 帯無線 LAN（W52/W53）を使って屋外で通信を行う

各部のなまえとおもな機能

本体前面

電源ボタン（19ページ）
・5秒以上押しつづけるとリセットとなります。

再生ボタン（23、29ページ）

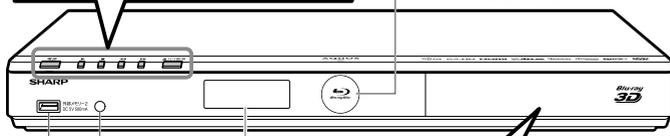
停止ボタン（29ページ）

早戻しボタン

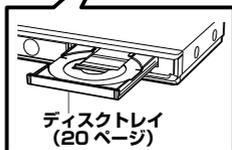
トレイ開／閉ボタン（20ページ）

早送りボタン

電源ランプ（19ページ）
・電源切のときはランプが赤点灯、電源入のときは緑点灯します。

BD/DVD/CDランプ
・ディスクセット時:青点滅
・ディスク再生時:青点灯

本体表示部

リモコン受光部（17ページ）

外部メモリー2端子（30、31、37、79ページ）
・BDビデオのBD-LIVEサービス機能でダウンロードしたデータを、USBメモリーに保存します。
・USBに保存されている写真(JPEG)や音楽(MP3)を再生します(→**37、47～49ページ**)

ディスクトレイ（20 ページ）

本体表示部の表示例

電源起動時 HELLO	**再生カウンター表示** 0 1:23:45
電源「切」時 BYE	**メニュー画面の操作時** MENU
電源「入」ディスク未セット時 - -:- -:- -	**リセット表示** RESEt
電源「入」ディスク停止時 00:00:00	**キーロック「入」時** Ho ld

・途中で再生を停止し、つづき再生情報があるときは、停止した時点のカウンター表示となります。

・キーロックを「入」にしているときに再生などの操作をすると「Hold」が点滅表示します。

本体のランプや表示部のバックライトを消したいときは

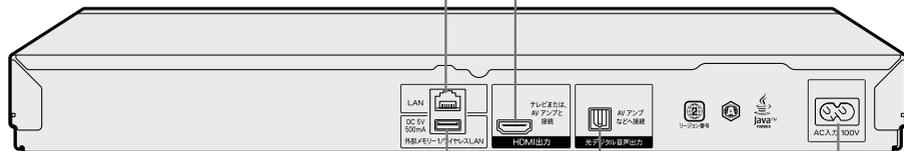
・リモコンの本体表示ボタンを押します。（ホーム画面から「各種設定」－「便利な機能」－「液晶設定」で設定することもできます。（→**63** ページ））

「AQUOS 純モード」について

ファミリンク対応のシャープ製テレビ「アクオス」と接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき（→ **68** ～ **69** ページ）、本機の HDMI 端子から「アクオス」に最適な画質で映像が出力される機能です。

本体背面

LAN端子（59ページ）
・インターネットを利用してBD-LIVE対応のBDビデオを楽しむために、LANに接続する端子です。
・インターネットの動画サイトが楽しめます。
・ホームネットワークに対応したAQUOSブルーレイで録画した番組などを視聴できます。

HDMI出力端子（54、55、57、58ページ）
・HDMI入力端子付きテレビやオーディオ機器などと接続します。

外部メモリー1端子（30、60ページ）
・BDビデオのBD-LIVEサービス機能でダウンロードした特典映像などを保存するためにUSBメモリーを装着します。
・付属の無線LANアダプターを接続します。

電源コード接続部

光デジタル音声出力端子（56、58ページ）
・光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器などと接続します。

USB メモリー使用上の注意

・USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。また、「クイック起動設定」を「しない」にして下さい。クイック起動設定をしたまま、抜いたり差したりすると、故障の原因になります。

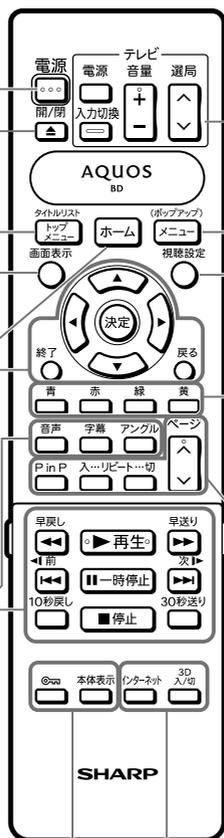
次ページへつづく ▶▶▶

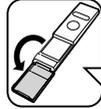
リモコン

・本機のリモコンで、本機とシャープ製のテレビを操作することができます。(シャープ製以外のテレビは操作できません。)

キーロック機能について

誤って操作することを防げます。
ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」に本機を接続している場合、ファミリンクによって本機が操作されてしまうこともありません。

- （キーロック）を2秒以上押すと、キーロック「入」になります。
- （キーロック）を2秒以上押すたびに、「入」⇔「切」となります。
- キーロック「入」のときに操作しようとすると、本体表示部に「HOLD」の表示が点滅します。

数字（44、45ページ）
- 視聴設定（→**44**ページ）や暗証番号（→**67**ページ）などの設定時に数字を入力します。

ふたを開けたところ

決定（44、45ページ）
- 入力した数字を決定します。

クリア（44、45ページ）
- 入力した数字を消去します。

・名称のないボタンを押しても、機能しません。

電池の入れかたと操作範囲

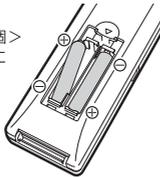
電池の入れかた

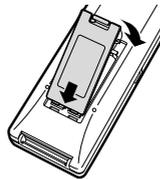
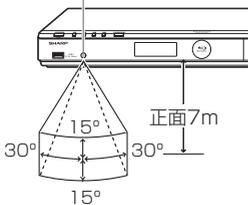
①裏ぶたを開ける

・矢印の方向に裏ぶたを開けます。

②乾電池を入れる

・付属の乾電池＜単４形×２個＞を収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

・新しい乾電池と交換する際は、アルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

・カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。**
- **乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。**
- **乾電池は種類によって特性が異なります。**
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- **新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。**
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- **乾電池が使えなくなったら…**
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- **不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。**

重要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し､5分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しいアルカリ乾電池と交換してください。（寿命は通常６カ月～１年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。

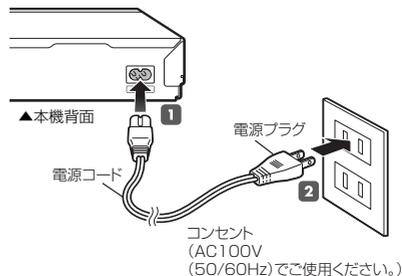
テレビと本機の準備をする

テレビと本体の電源を入れ、本機を操作するための準備をします。

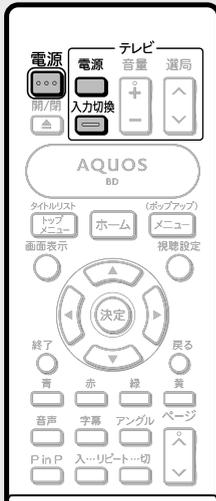
- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

電源プラグを差し込む

1 電源コードを本機に接続します

2 電源プラグをコンセントに差し込みます

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 本機の電源が切れているときは、本体の電源ランプ（赤色）が点灯します。電源プラグを差し込んだときは、操作が行えるようになるまでに多少時間がかかります。電源ランプが赤点灯するまでお待ちください。

赤点灯中(電源ランプ)ー待機中(電源「入」にできます)

緑点灯中(電源ランプ)ー電源入

・ファミリンク対応テレビと HDMI ケーブルを使用して接続しているときは、テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えると、自動的に本機の電源も入ります。
(テレビのファミリンク設定を行ってください。テレビ側の設定については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。)

ご注意

・本機のリモコンで操作できるテレビは、シャープ製のテレビです。シャープ製以外のテレビは操作できません。

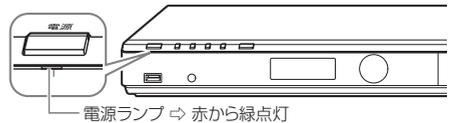
電源を入れる / 切る

1 テレビの電源を入れます

・シャープ製のテレビをご使用の場合は、本機のリモコンでテレビを操作できます。

2 テレビの入力を、本機を接続した入力(「入力 1」など)に切り換えます

3 本機の電源を入れます

電源が入ると…

・「Language･表示言語設定」画面が表示されたときは、適切な言語を設定してください。通常は、テレビに合った言語が自動で設定されます。

本体で電源を入れる / 切る

■電源を入れる

■電源を切る

・電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

ディスクの入れかた・出しかた

BD や DVD ディスクの入れかたと取り出しかたについて説明します。

お知らせ

- **本機にディスクを入れる前に、「本機で再生できるディスク」（→84ページ）をご覧ください。**
- **ディスクトレイにセットできるディスクは 1 枚です。2 枚以上セットすると、故障の原因になります。**

ディスクの持ちかた

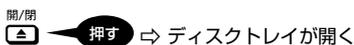
- 光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、録画や再生ができなくなる場合があります。

- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。
- ディスクに汚れなどがあるときは、「ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて」（→ **12** ページ）をご覧になり、汚れを落としてください。

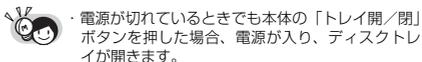
ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます

⇨ 電源入

2 ディスクトレイを開けます

開/閉 押す ⇨ ディスクトレイが開く

- **本体の「トレイ開／閉」ボタンを押してもディスクトレイが開きます。**
- トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

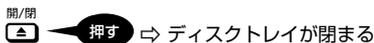
- 電源が切れているときでも本体の「トレイ開／閉」ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを置きます

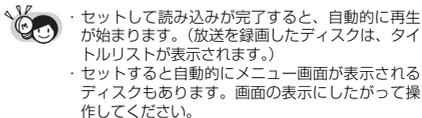
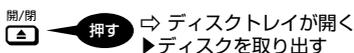
- ラベル印刷面を上にして置きます。
- 両面記録のディスクは、再生したい面を下にして置きます。

4 ディスクトレイを閉めます

開/閉 押す ⇨ ディスクトレイが閉まる

- **本体の「トレイ開／閉」ボタンを押してもディスクトレイが閉まります。**

- セットして読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。（放送を録画したディスクは、タイトルリストが表示されます。）
- セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の表示にしたがって操作してください。

ディスクの出しかた

開/閉 押す ⇨ ディスクトレイが開く
▶ディスクを取り出す

- **本体の「トレイ開／閉」ボタンを押してもディスクトレイが開きます。**

ホーム画面の使いかた

■ホーム画面のあらまし

●ホーム画面とは、本機の操作や各種設定を行うことができるメニュー画面です。

■ホーム画面について

■ホーム画面項目について

項目	説明
動画 ⇒ **27～35、51** ページ	ビデオソフトやレコーダーで録画した番組など動画を再生します。
音楽 ⇒ **36～38、51** ページ	ディスクやUSBメモリーに記録されている音楽ファイルを再生します。
画像 ⇒ **47～49、51** ページ	ディスクやUSBメモリーに記録されているJPEGファイル（画像）を再生します。
インターネット ⇒ **52** ページ	YouTubeにアクセスします。
各種設定 ⇒ **62～64** ページ	映像や音声の設定、BD/DVD再生設定など本機を楽しむための設定が行えます。

各種設定

項目	説明
映像・音声設定 ⇒ **62** ページ	映像や音声に関する設定をします。
便利な機能 ⇒ **63** ページ	無操作時に電源を自動で「切」にするなど、便利な機能を設定します。
ファミリンク連動設定 ⇒ **63** ページ	ファミリンクによる連携操作を行うための設定をします。
BD/DVD再生設定 ⇒ **63～64** ページ	BD/DVDを再生するための設定をします。
Language・表示言語設定 ⇒ **64** ページ	画面の表示を英語表示にするか、日本語表示にするかを設定します。
通信設定 ⇒ **64** ページ	BD-LIVEを楽しむ、またはサーバーからソフトウェアをダウンロードし更新するためのLAN設定をします。
システムバージョン表示 ⇒ **64** ページ	ソフトウェアのバージョンを表示します。
USBメモリー管理 ⇒ **64** ページ	USBに保存されているBD-LIVEのデータ（特典映像やゲームスコアなど）を消去します。
ソフトウェアの更新 ⇒ **64** ページ	本機のソフトウェアを更新します。
システム ⇒ **64** ページ	本機の設定をリセットします。

次ページへつづく ▶▶▶

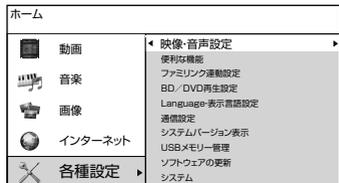
■ホーム画面の操作方法

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 操作したい項目を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

例 :「各種設定」を選んで決定したとき

3 操作したい項目を選んで決定します

例 :「BD/DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」を選んで決定したとき

- 一つ前の画面に戻るときは 戻る を押します。

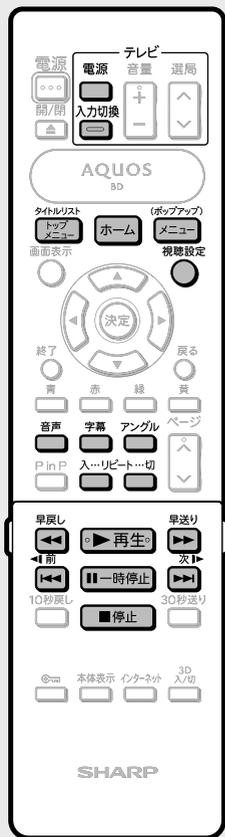
4 設定します

- 設定操作は項目により異なります。
  操作ガイドに従って設定してください。

5 設定を終了します

- ホーム を押しても終了できます。

再生について

BD や DVD ディスクなどを再生する前にお読みください。

ご注意

・一般に BD や DVD の再生音量は小さく感じられるため、テレビの入力を切り換えたときなど、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。BD や DVD 再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生が終わったら必ず音量を下げてください。

お知らせ

・再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」（→ **87 ～ 88** ページ）をご覧ください。

再生のしかた

したいこと	参照
市販のBDビデオやDVDビデオ（映画など）を再生したい	市販のBDビデオやDVDビデオを再生する▶**28**ページ
BDレコーダーで録画したタイトル（番組）を再生したい	タイトルリストから再生する▶**32**ページ
DVDレコーダーで録画したタイトル（番組）を再生したい	タイトルリストから再生する▶**32**ページ ファイナライズされたDVDディスクを再生する▶**34**ページ
音楽CDを再生したい	音楽CDを再生する▶**36**ページ

再生中の便利機能

■途中で停止したタイトルを、つづきから再生する▶ **29** ページ

■いろいろな再生▶ **39** ページ

サーチやスロー再生、スキップなど、いろいろな再生ができます。

■音声や字幕、映像 / アングルなどの切り換え▶ **42** ～ **43** ページ

「視聴設定」（**44** ページ）を使ってもさまざまな操作ができます。

■くり返し再生する▶ **46** ページ

番組全体、あるいは一定の範囲をくり返し再生できます。

シャープ製ファミリンク対応テレビと接続しているとき

次のボタンを押すと、テレビが本機からの入力（HDMI 入力）に切り換わり、本機の画面が表示されます。

タイトルリスト［トップメニュー］→タイトルリストを表示

［ホーム］→ホーム画面を表示

［再生］→本機の再生画面を表示
（電源「入」からの操作でテレビの入力が切り換わります。）

テレビ操作ボタン

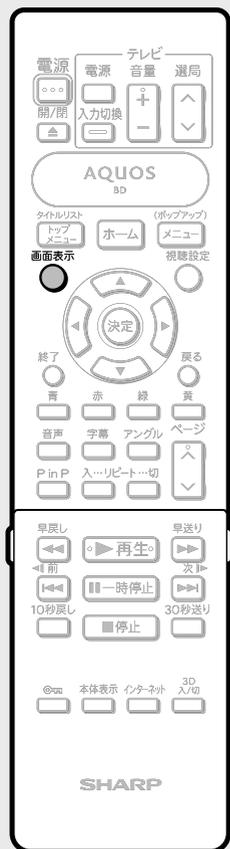
電源［ ］→テレビと本機の電源「切」
（本機が停止状態のときに液晶テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。本機でディスクを再生しているときは、電源は切れません。）

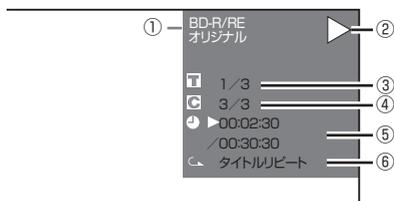
入力切換［ ］→本機の再生画面を表示
（液晶テレビの入力を本機が接続されている端子に切り換えると、本機の電源が自動的に入ります。）

次ページへつづく ▶▶▶

ディスク情報（カウンター表示など）をテレビ画面に表示する

再生時のカウンターなどの情報をテレビ画面に表示できます。

・ 一部の市販の BD ビデオでは、チャプターやカウンターの総時間表示が出ないことがあります。

⇨ ディスクの再生時間などの情報を表示します（約 1 分後に自動的に消えます）

（BD 操作中の例）

・ もう一度「画面表示」ボタンを押すと消えます。再生中であれば再生時間表示だけになります。再生時間表示を消すには、もう一度「画面表示」ボタンを押してください。

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示
- ・セットしたディスクの種類を表示
- ・オリジナルタイトルを再生するかプレイリストを再生するかを表示
- ・DVDディスクを再生するときは、加えて録画フォーマットを表示
  - VR(オリジナル／プレイリスト)　：VRフォーマット
  - V(オリジナル)　：ビデオフォーマット

② 動作表示
- ▶ 再生中
- ■ 再生停止時

③ 再生中のタイトル番号／そのタイトル数を表示（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

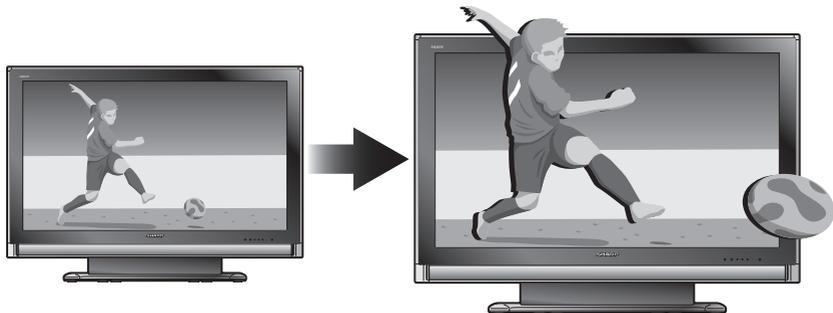
④ 再生中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）

⑤ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示

⑥ リピート再生をしているときに表示

3D 映像を楽しむためには

3D 映像について

● 3D映像とは「飛び出し感」や「奥行き感」を持った立体的な映像のことです。

※画像はイメージです。

3D映像のしくみについて

人は物を見るときに右目･左目それぞれ、わずかに異なった映像を見ています。これを「視差」と呼び、脳の処理により、「飛び出し感」や「奥行き感」を認知します。3D映像はこの「視差」を応用し、右目用、左目用の映像を交互に高速表示することにより、2つのイメージを立体感のある映像として脳に認識させる技術です。

3D 映像を楽しむために必要な機器は

● 3D映像を楽しむためには3Dに対応したテレビと3Dメガネ*が必要です。

3D 対応テレビ

3D テレビ番組の視聴や 3D 対応の BD プレーヤーで再生した 3D 映像を視聴するときに必要です。

HDMI ケーブル（付属品）

市販の HDMI ケーブルをご使用になるときは、HIGH SPEED（ハイスピード）タイプをご使用ください。

3D メガネ*

3D 映像を視聴するときに必要です。（※本機には付属していません。使用しないテレビもあります。）

3D対応 BD プレーヤー（本機）

3D 対応のブルーレイビデオソフトを再生したり、3D 対応の番組を再生するときに必要です。

お知らせ

- 本機は、3D 対応テレビで立体的な映像が楽しめるように、3D の映像信号を出力する機能を搭載した機器です。3D に対応していないテレビと本機を接続しても、3D 映像は楽しめません。

次ページへつづく ▶▶▶

3D テレビと本機の接続について

● 3D映像をテレビで楽しむためには、3D対応テレビと本機を付属のHDMIケーブルまたは市販のHDMIケーブルHIGH SPEED(ハイスピード)タイプで接続してください。

3D 映像を楽しむために

・本機の 3D 切換設定を「オート」に設定してください。（→ **27** ページ）
・3D 対応のアクオスと接続したときは、アクオスの 3D 自動切換設定を「する」に設定してください。
⇒テレビの取扱説明書をご覧ください。
・他メーカーの 3D 対応テレビと接続した場合の設定等については、テレビの説明書でご確認ください。

シャープ製アクオスオーディオとの接続は

・3D対応のアクオスオーディオと接続するときは

本機とアクオスオーディオ、アクオスオーディオと 3D 対応テレビを HDMI ケーブル HIGH SPEED（ハイスピード）タイプで接続します。
（→ **57** ページ）

・3D非対応のアクオスオーディオと接続するときは

本機と 3D 対応テレビを HDMI ケーブルで接続します。本機とアクオスオーディオは光デジタル音声ケーブル、アクオスオーディオと 3D 対応テレビは HDMI ケーブル（ファミリンク操作のため）と光デジタル音声ケーブルで接続します。
（→ **58** ページ）

お知らせ

・ 3D 非対応のアクオスオーディオ（AV アンプ）と本機、および 3D 対応テレビを接続するときは、本機と 3D 対応テレビを HDMI ケーブルで直接接続してください。アクオスオーディオ（AV アンプ）の HDMI 入力端子を経由してテレビと接続したときは、3D 映像が楽しめません。

市販のブルーレイ3D™(3D対応BD)を再生する

本機と3D対応テレビをHDMIケーブルで接続すると、市販のブルーレイ3D™を再生し、臨場感ある3D映像を楽しむことができます。

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

・ 病状が悪化する原因となることがあります。

3D 映像の視聴年齢は、およそ 5 ~ 6 歳以上を目安にする

・ お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め、適度な休憩をとる

・ 視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる

・ 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

ご注意

- 本機と接続するテレビが 3D に対応していない場合は、3D 映像をご覧になることはできません。
- 接続する 3D 対応テレビによっては、テレビ側の 3D 視聴設定が必要になることがあります。詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- 早送り、早戻し中は 2D 再生となります。

■必要な準備は

・「HDMI 映像出力設定」(→ **62** ページ)を「オート」に設定する。

1 テレビと本機の準備をします

2 「各種設定」－「BD/DVD再生設定」を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

3 「3D切換設定」を選んで決定します

4 「オート」を選んで決定します

・2Dで再生したいときは、「2D」を選びます。

5 設定を終了します

6 ブルーレイ3D™をセットします

・ブルーレイ3D™をセットすると、自動的に再生が始まります。

・停止中に 3D入/切 を押しても「3D切換設定」が行えます。

7 ブルーレイ3D™の再生に関する注意文が表示されます

・3D視聴時の注意文を表示させたくないときは、「各種設定」－「BD/DVD再生設定」－「3D通知設定」で「しない」に設定します(→ **64**ページ)。

8 自動的に再生が始まらないときは、再生ボタンを押します

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

映画など市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

お知らせ

- 市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクには、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
  ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
- 海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販の BD ビデオの再生中、コンテンツによっては自動で静止画になるものもあります。このようなコンテンツを再生し、自動で静止画になったときは [一時停止] を押して静止画を解除できます。

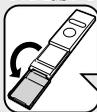
メモ

- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」(→**29**ページ）と同じ操作で表示できます。

- DVD ビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

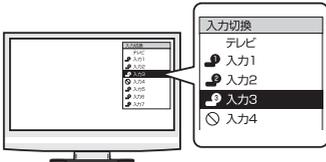
- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。
- DVD ビデオ視聴制限レベルについて **63** ページ
- BD ビデオ / ホームネットワークの視聴制限年齢について **64** ページ

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

• シャープ製のテレビをご使用の場合は、本機のリモコンでテレビを操作できます。

① テレビ操作部の 電源 を押してテレビの電源を入れます。

② 電源 を押して本機の電源を入れます。

③ テレビに向けたままテレビ操作部の 入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの「外部入力 3」に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

メモ

• 本機のリモコンで操作できるテレビは、シャープ製のテレビです。
• シャープ製以外のテレビを操作するときは、テレビのリモコンで操作してください。
• BD ビデオを再生して楽しむ場合、本機は BD-LIVE やゲーム、ブックマークなどのデータを保存するために USB メモリーを使用します。USB メモリー（USB2.0、2GB 以上）を本機に装着しておくことをおすすめします。（→ 30 ページ）

2 ディスクをセットします 20 ページ

・セットして読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。
・セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
・ディスクによっては、読み込みに時間がかかる場合があります。

3 自動的に再生されないときや一度停止したときは 再生ボタンを押します

再生 押す ⇨ 再生

• 途中で停止したあとに 再生 を押したときは、つづきから再生されます。

4 再生を止めるときは

つづきから見る・はじめから見る

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

• 再生を停止した後で 再生 を押すと、停止したところから再生されます。

• ■停止 を 2 回押して停止した後、再生 を押すと、はじめから再生されます。

お知らせ

• つづき再生は、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと働かなくなります。
• その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。
• 音楽用 CD はつづき再生が働きません。
• BONUS VIEW や BD-LIVE などの BDJ（Java）に対応した BD ビデオはつづき再生が働かない場合があります。

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 ディスクをセットし、トップメニューを表示させます

トップメニューの例

トップメニュー
1 ジャズ　2 ラテン音楽
3 クラシック　4 ロック

• 画面の指示にしたがって操作してください。

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 ディスクをセットし、ディスクメニューを表示させます

ディスクメニューの例

• 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

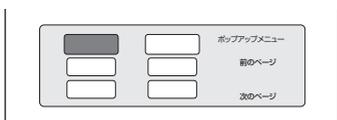
次ページへつづく ▶▶▶

ポップアップメニューを表示させるには

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 再生中にポップアップメニューを表示させます

ポップアップメニューの例

・ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 項目を選んで決定します

3 操作が終ったら、ポップアップメニューを消します

- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

BONUS VIEW™、BD-LIVE について

BD ビデオには、BONUS VIEW ™(ボーナスビュー)や BD-LIVE(BD ライブ)という機能に対応したものがあります。

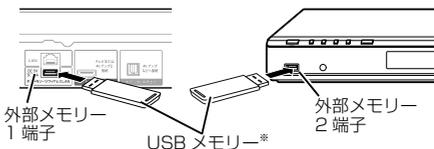
BONUS VIEW ™(ボーナスビュー):2 画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

BD-LIVE(BD ライブ):本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。

- BD ビデオに記録されているデータやダウンロードしたデータは、USB メモリーに保存されます。本機では、USB メモリーを使います。本機背面または前面の外部メモリー端子に USB メモリー(USB2.0、2GB 以上)を接続してお楽しみください。
- BONUS VIEW ™や BD-LIVE などでメニューのクリック音や第 2 音声を楽しむために、「BD ビデオ付加音声」を「有効」に設定してください。(→ **62** ページ)

お知らせ

- BD-LIVE(BD ライブ)対応のディスクの BD ライブ機能を楽しむときは、本機背面または前面の外部メモリー端子に USB メモリー(USB2.0、2GB 以上)を接続してください。
- USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- USB メモリーは、外部メモリー 1 端子と外部メモリー 2 端子に接続できます。2 本の USB メモリーを同時に接続した場合、外部メモリー 1 端子が優先され、外部メモリー 2 端子に接続された USB メモリーにデータは保存されません。

※ 本機の外部メモリー端子に USB メモリーを接続したときは、データ保存のためのフォルダ「_SHLS_」が自動で作成されます。

BONUS VIEW™対応の BD ビデオを楽しむ

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 BD ビデオをセットします 20 ページ

3 再生を始めます

4 副映像などを表示させます

主映像／音声　　副映像／音声

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。再生の手順は、ディスクの説明書をご覧ください。

BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむ

市販の BD ビデオ BD-RE BD-R 市販の DVD ビデオ DVD-RW VR DVD-RW ビデオ DVD-R VR DVD-R ビデオ 音楽用 CD

1 ①ネットワークの接続 59~60ページ と設定 71~75ページ をします

② USB メモリーを装着します

- USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- USB メモリーを装着しないと、BD-LIVE は楽しめません。

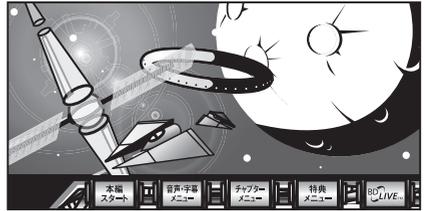
2 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

3 BD ビデオをセットします 20 ページ

4 再生を始めます

5 ディスクの取扱説明書に従い、BD-LIVE（BD ライブ）の操作をします

画面は、一例です。

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードされた映像情報などは、USB メモリーに保存されます。USB メモリーから再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機にセットしてください。別のディスクをセットすると、USB メモリーに保存された情報は再生できません。
- 前に記録された他のデータを含む USB メモリーを使うと、映像や音声が正しく再生されないことがあります。
- データが USB メモリーに保存されるまで一定の時間がかかります。（データが保存されるまでの時間は、インターネットの接続速度や番組のデータ容量により異なります。）

お知らせ

USB メモリーに保存されたデータは消去できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードした情報は、不要になれば消去することができます。**78** ページ「USB メモリーのデータを消去する」をご覧ください。

USB メモリーの容量が足りないときは

- データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除するか、新しい USB メモリーをお使いください。

USB メモリーを再生中に取り外すと

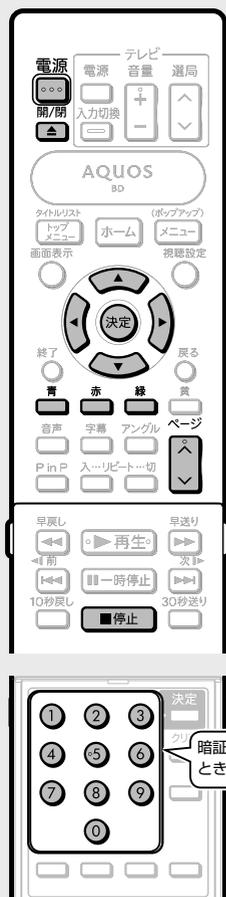
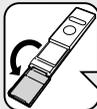
- BD ビデオの再生が停止します。再生中は USB メモリーを取り外さないでください。

BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE（BD ライブ）に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE（BD ライブ）で映像などの情報を USB メモリーに保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE（BD ライブ）は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LVE（BD ライブ）対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**64** ページ「BD-LIVE 設定」をご覧ください。

番組が録画された BD や DVD を再生する

- 番組が録画された BD-RE や BD-R を「タイトルリスト」から再生します。
- DVD ディスクは、ファイナライズされたディスクが再生できます。

ふたを開ける

ご注意

- BD-RE Ver.1.0(カートリッジ入り)は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
- DVD レコーダーで録画したディスクを再生する場合はファイナライズが必要です。
  DVD-RW（VR フォーマット）
  DVD-RW（ビデオフォーマット）
  DVD-R（VR フォーマット）
  DVD-R（ビデオフォーマット）
- ファイナライズを行ったビデオフォーマットの DVD ディスクはタイトルリストが表示されません。タイトルメニュー画面が表示されます。(→ **34** ページ)
- **デジタル放送を録画したディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。**
  - **番組情報は表示できません。**
  - **連動データは表示できません。**
  - **字幕は表示できません。**

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ディスクをセットします 20 ページ

- タイトルリスト画面が表示されます。

BD をセットしたとき
- BD レコーダーで使用制限をかけられた BD をセットすると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。

- 暗証番号を 3 回まちがえると、ディスクトレイが開きます。再度ディスクをセットしてから、正しい暗証番号を入力してください。

暗証番号を忘れたとき 64、67 ページ

3 見たい番組（タイトル）を選んで決定し、再生します

タイトルリストの画面例

タイトルリスト(BDオリジナル)

春のイタリア観光
00/00 木 00:00 午後

No.	タイトル		時間
1	春のイタリア観光	*/** [*]	60分
2	K-5格闘技選手権	*/** [*]	60分
3	新春芸能人大集合	*/** [*]	60分
4	マニュアル浜口	*/** [*]	120分
5	ウィンブルドン2010	*/** [*]	60分
6	俺は待ってないぜ	*/** [*]	60分

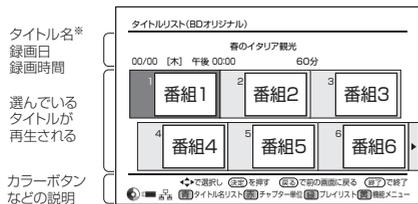
5/全50タイトル▼

- タイトルが6つ以上あるときは：ページ で
  ページを切換えます。

4 再生を止めるときは

タイトルリストについて

- タイトルリストには、画面リストとタイトル名リストがあります。
- プレイリストを選択することもできます。

■画面リスト

■タイトル名リスト

画面リストと
タイトル名リストが
切り換わります

- 各画面下に操作に使うボタンの説明が表示されますので、参考にしてください。

・タイトルリストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。

・「タイトル保護」が設定されている場合には「 」が付きます。

※タイトルリストに表示できない文字（日本語・英語以外）のタイトルは、「プログラム 1」などと表示されます。

■チャプター（章）単位表示

1 画面リストを表示させて

2 チャプターを選んで決定します

⇨ 再生

- タイトル単位に戻すときは、赤（タイトル単位）を押します。

■タイトルの 並べ換え

1 タイトル名リストを表示させて

⇨ 押すたびに
新しい順→古い順が
切り換わります。

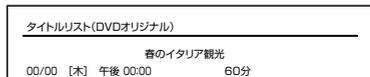
■プレイリスト表示
（プレイリストのあるDVDディスクをセットしたとき）

1 タイトルリストを表示させて

緑 押す

（プレイリスト）

2 番組を選んで決定します ⇨ 再生

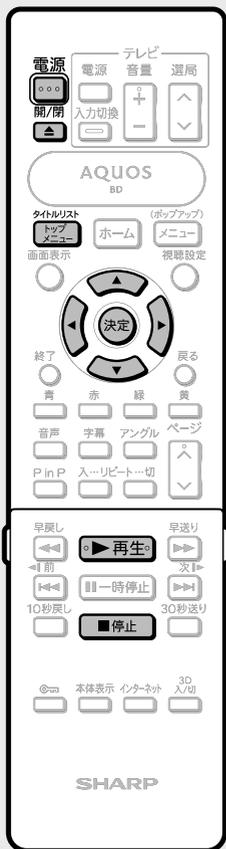
タイトルリスト(DVDオリジナル)
春のイタリア観光
00/00 [木] 午後 00:00 60分

・プレイリストとは、録画したタイトルから好きなシーンを集めて作成するタイトルのことです。
・本機では、プレイリストは作れません。

次ページへつづく ▶▶▶

ご注意

・DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。

お知らせ

・ファイナライズとは、録画したディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
・ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

ファイナライズされた DVD を再生する

市販の BD ビデオ ／ BD-RE ／ BD-R ／ 市販の DVD ビデオ ／ **DVD-RW VR** ／ **DVD-R VR** ／ **DVD-RW ビデオ** ／ **DVD-R ビデオ** ／ 音楽用 CD

DVD レコーダーで録画した DVD ディスクは、ファイナライズされたものが再生できます。（ファイナライズされていない DVD ディスクは本機で再生できません。）

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ディスクをセットします 20 ページ

・ディスクをセットして読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。

3 自動的に再生されないときや一度停止したときは、再生ボタンを押します

⇨ 再生

・途中で停止したときは、つづきから再生されます。

4 再生を止めるときは ■停止 押す

■タイトルを選んで再生させるには

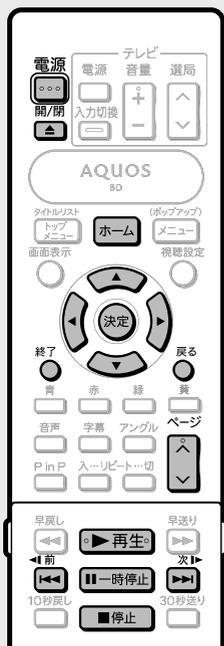
1 停止中にタイトルメニューを表示させます

タイトルリスト トップメニュー 押す

2 タイトルを選んで決定します

（タイトルメニュー例）

DivX(R) ビデオを再生する

DVD-R/-RW ディスク、USB メモリーまたはホームネットワーク上に保存されている DivX ビデオファイルを再生できます。

お知らせ

DIVX ビデオについて
DivX® は、DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオの再生に対応した正規の DivX Certified®（DivX 認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX 形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。
プレミアムコンテンツを含む最高 HD 1080p の DivX® および DivX Plus ™ HD（H.264/MKV）ビデオ再生対応の DivX Certified®（DivX 認証）取得済み。
DIVX ビデオオンデマンドについて
DivX ビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、この DivX Certified®（DivX 認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューの DivX VOD セクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.com をご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 DivX ビデオファイルが保存されているディスクをセットまたは、USB メモリーを取り付けます

20 ページ

・USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切り、クイック起動設定を「しない」に設定してください。
・USB メモリーは本体前面の外部メモリー 2 端子に取り付けることをお勧めします。

3 「動画」を選んで決定します

• フォルダの一覧画面になります。

■ディスクと USB メモリーの両方にデータがあるとき
• ディスク、USB メモリーまたはホームネットワークを選択する画面が表示されます。再生したい DivX ファイルが保存されているメディアを選んで決定するとフォルダの一覧画面になります。

4 フォルダまたはファイルを選択します

• ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

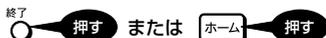
• フォルダを選んだときは、リモコンの決定ボタンを押してフォルダを開き、ファイルを選択します。

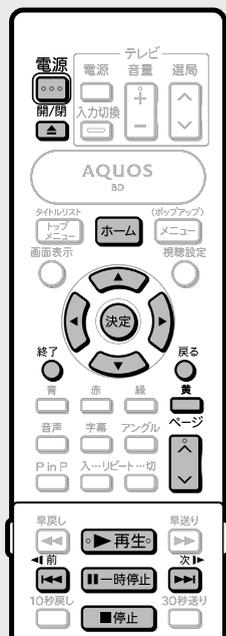
5 再生ボタンを押します

6 再生を止めるときは ■停止 押す

• 1 つ前の画面に戻るには、戻る を押します。

7 ホーム画面に戻るには

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

音楽 CD を再生する

市販の音楽 CD を再生できます。

1 テレビと本機の準備をします

18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 CD をセットします

・読み込みが完了すると自動的に再生されます。

3 再生ボタンを押します

自動的に再生されないときや一度停止したときは

4 曲を選んで再生したいときは、再生中または停止中に、再生したい曲を選んで決定します

・ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

5 再生中に

⇨ 次 を押すと、次のタイトル（トラック）を頭出しします
前 を押すと、いま再生しているタイトル（トラック）の先頭に戻ります
2 回続けて押すと、前のタイトル（トラック）の先頭に戻ります

6 一時停止をするときは 一時停止 押す

7 再生を止めるときは ■停止 押す

・音楽用 CD 画面を終了するときは「戻る」ボタンを押します。

8 ホーム画面に戻るには

視聴設定でも操作できます

1 CD をセットして視聴設定を選択します

（視聴設定）

2 44 ～ 45 ページの操作で CD を再生します

MP3 ファイルを再生する

CD-R/-RW ディスク、USB メモリーまたはホームネットワーク上に保存されている MP3 ファイルを再生できます。

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 MP3 ファイルが保存されているディスクをセットまたは、USB メモリーを取り付けます 20 ページ

・USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切り、クイック起動設定を「しない」に設定してください。
・USB メモリーは本体前面の外部メモリー 2 端子に取り付けることをお勧めします。

3 「音楽」を選んで決定します

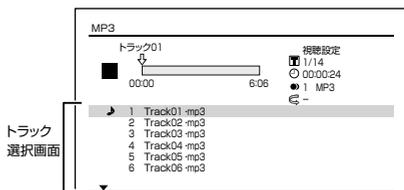
• フォルダの一覧画面になります。

■ディスクと USB メモリーの両方にデータがあるとき

• ディスク、USB メモリーまたはホームネットワークを選択する画面が表示されます。再生したい MP3 ファイルが保存されているメディアを選んで決定するとフォルダの一覧画面になります。

4 フォルダまたはファイルを選択します

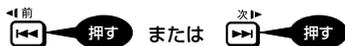
• ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

• フォルダを選んだときは、リモコンの決定ボタンを押してフォルダを開き、ファイルを選択します。

5 再生ボタンを押します

• 視聴設定は選択できません。

6 曲を選んで再生したいときは、再生中または停止中に、再生したい曲を選んで決定します

• ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

7 再生中に

⇨ 次 を押すと、次のタイトル（トラック）を頭出しします
前 を押すと、いま再生しているタイトル（トラック）の先頭に戻ります
2 回続けて押すと、前のタイトル（トラック）の先頭に戻ります

8 一時停止をするときは 一時停止 押す

次ページへつづく ▶▶▶

9 再生を止めるときは ■停止 押す

・MP3 画面を終了するときは「戻る」ボタンを押します。

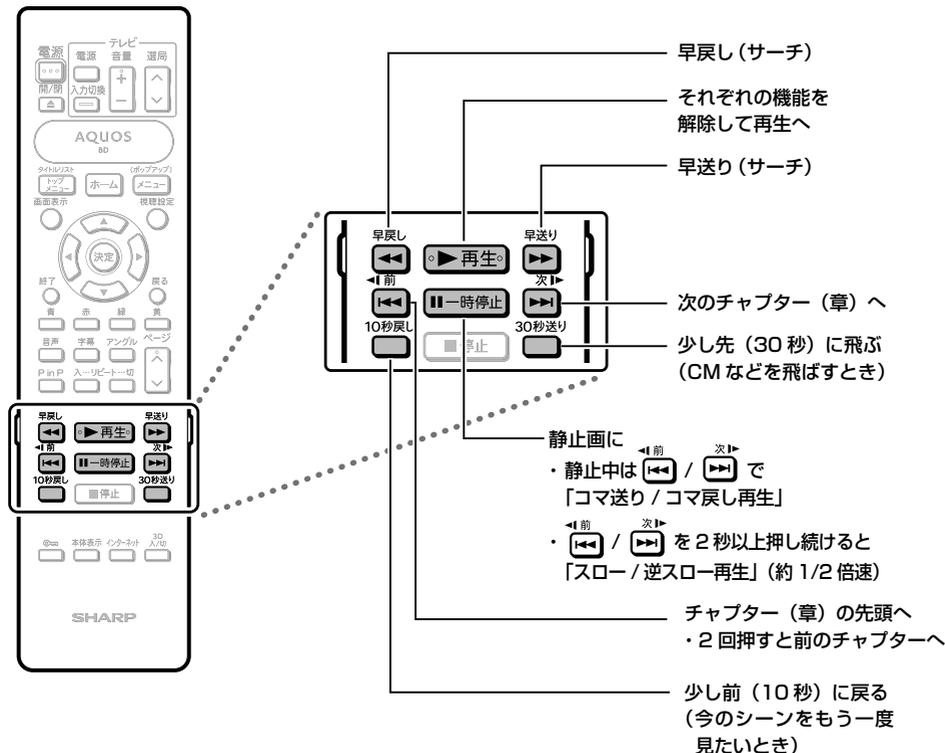
10 ホーム画面に戻るには

お知らせ

・早送り／早戻しサーチは、働きません。
・リピート再生は働きません。
・USB メモリー再生中、ディスクトレイの開閉操作を行うと再生が停止します。

再生中に使えるボタン

ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

各ボタンのおもなはたらき

ご注意

・ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

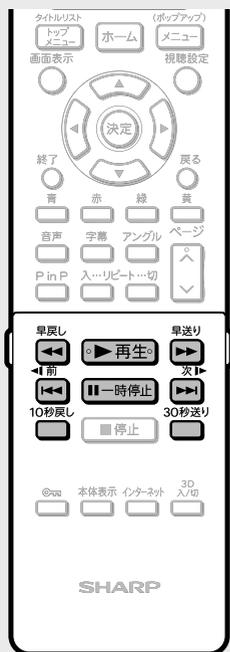
音楽用 CD の再生では、次の操作ができません。
・スロー再生・コマ送り・10 秒戻し・30 秒送り

MP3（音楽用データ）の再生では、次の操作ができません。
・早送り／早戻し・スロー再生・10 秒戻し・30 秒送り

早送り／早戻しについて
・早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
・ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。

スロー再生／逆スロー再生について
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
・音楽用 CD はスロー再生できません。
・市販の BD ビデオは逆スロー再生できません。

静止画再生／コマ送り再生／コマ戻し再生について
・VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
（BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。）
・市販の BD ビデオはコマ戻し再生はできません。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」（→ 86 ページ）をご覧ください。
・早送り／早戻しがうまくいかないとき
・静止画再生／コマ送り再生がうまくいかないとき
・スロー再生がうまくいかないとき

次ページへつづく ▶▶▶

早送り / 早戻しする（サーチ）

1 再生中に

早送り［押す］ または 早戻し［押す］

⇨ 押すたびにサーチの速さが変わります

BD/DVD ディスクを再生しているとき

→ 1（約2倍速）→ 2（約8倍速）→ 3（約32倍速）

音楽用 CD を再生しているとき

→ 1（約2倍速）→ 2（約8倍速）

- サーチの速さはディスクによって変わります。

2 サーチを解除するときは

再生［押す］

⇨ サーチが解除され、再生画面に戻ります

- タイトルをまたぐサーチはできません。

チャプター（章）の頭出しをする（スキップ）

1 再生中に

前［押す］ または 次［押す］

⇨ 次 を押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします

前 を押すと､いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります

2 回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります

静止画にする（静止画再生）

1 再生中に

⇨ 静止画再生します

- 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。

2 静止画再生を解除するときは

再生［押す］

⇨ 静止画再生が解除され、再生画面に戻ります

- 一時停止 を押しても解除できます。

コマ送りする（コマ送り／コマ戻し再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 静止画再生中に

⇨ 次 を押して離すと、コマ送りされます
⇨ 前 を押して離すと、コマ戻しされます

2 コマ送り再生を解除するときは

⇨ コマ送り再生が解除され、再生画面に戻ります

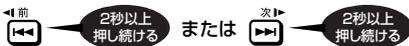
・DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

・市販の BD ビデオはコマ戻し再生はできません。

スローモーションで見る（スロー／逆スロー再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 静止画再生中に

または

⇨ 約 1/2 倍速のスロー再生します

・ 次 でスロー再生になります。
・ 前 で逆スロー再生になります。
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。

2 スロー再生を解除するときは

再生 押す

⇨ スロー再生が解除され、再生画面に戻ります
・タイトルをまたぐスロー再生はできません。

・市販の BD ビデオは逆スロー再生はできません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

約 30 秒先に送ることができます。
・ コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。

1 再生中に

⇨ 約 30 秒先にジャンプします
⇨ 連続押しは、最大 6 回（3 分先）まで行えます

少し前に戻すには（10 秒戻し）

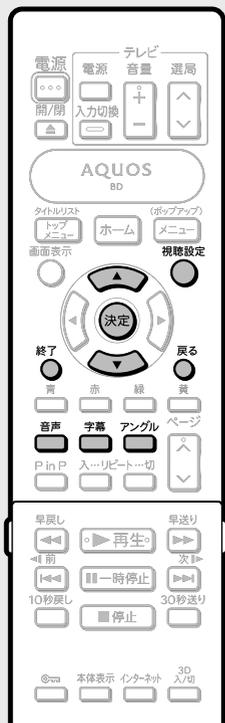
市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

約 10 秒前に戻すことができます。
・ ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。

1 再生中に

⇨ 約 10 秒前に戻って再生します
⇨ 連続押しは、最大 6 回（1 分前）まで行えます

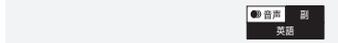
再生中に音声や字幕を切り換える

再生中に音声・字幕・映像の切り換えができます。

音声を切り換えるには

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

⇨ 押すたびに音声を切り換えます

音声表示の例（約５秒後に消えます。）

・ 音声表示は、ディスクによって異なります。

押すたびに次のように切り換わります。

ニヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
・「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
・「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
・現在再生されている音声番号が表示されます。

■視聴設定で切り換えるには

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

⇨ 視聴設定画面を表示します

2 「●)))」を選んで決定します

3 音声を選んで決定します

4 視聴設定画面を消すには

ご注意

- 次のような場合は、ニヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、オーディオ機器側で音声切換の操作を行ってください。
- BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴設定画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオの再生操作ができなくなることがあります。このようなときは、視聴設定画面を閉じてください。
- ステレオ / モノラルで録画した番組やデジタル出力からのビットストリーム音声を再生する場合は、音声の切り換えができません。「デジタル音声出力設定」を「PCM」にしてください。
- 音楽用 CD 再生時、リモコンの音声ボタンは働きません。視聴設定で音声切り換えを行ってください。(→ **44** ページ)

お知らせ

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
- 連動データ放送は再生できません。
- 字幕は表示できません。

字幕を切り換えるには

1 字幕のあるタイトルを再生中に

⇨ 押すたびに字幕を切り換えます
字幕を消すときは「切」を選びます

字幕表示の例

字幕がないディスクは、「－－」と表示されます。

■視聴設定で切り換えるには

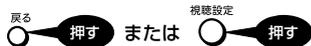
1 字幕のあるタイトルを再生中に

⇨ 視聴設定画面を表示します

44 ページ

2 「 」を選んで決定します

3 字幕を選んで決定します

4 視聴設定画面を消すには

映像やアングルを切り換えるには

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

⇨ 押すたびに映像やアングルを切り換えます

映像 1 の例

■視聴設定で切り換えるには

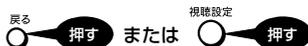
1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

⇨ 視聴設定画面を表示します

44 ページ

2 「 」を選んで決定します

3 映像を選んで決定します

4 視聴設定画面を消すには

各機能の切り換えについて

- 字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。
  ディスクの取扱説明書もご覧ください。
- BD レコーダーで録画した BD-RE/-R に字幕が記録されていても、本機は字幕を表示できません。

アングル表示を出したいとき

- アングルが記録されているシーン（場面）で、アングルマークを表示するように設定できます。
- 「各種設定」－「BD/DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」（→ **64** ページ）で設定します。
- 表示したアングルマークは、終了 を押すと消えます。

アングルマーク

市販の BD ビデオ	BD-RE BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR DVD-RW ビデオ	DVD-R VR DVD-R ビデオ	音楽用 CD

再生中に設定をする（視聴設定）

再生しながら、いろいろな設定をまとめて行うことができます。

1 再生中に

視聴設定 押す ⇨ 視聴設定画面を表示します

2 設定項目を選んで決定します

① **再生状態表示**
動作状態やディスクの種類

② **設定項目（次ページ参照）**
音声表示「 」はディスクによって異なります

③ **操作ガイド表示**

3 設定します（次ページ参照）

・画面右下の「操作ガイド表示」にしたがって操作してください。

4 設定を終わるとき

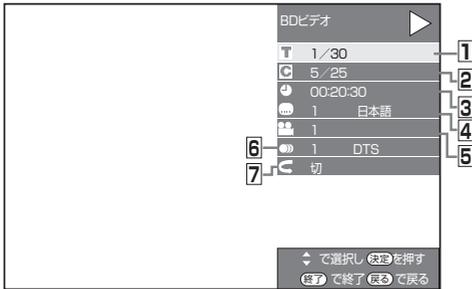
ご注意

・BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴設定画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴設定画面を消してください。

お知らせ

・市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、視聴設定での機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
・アングルや字幕などで「ーー」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

各設定項目について

ディスクによって、設定できる項目は異なります。

■好きなところから見る

1 **タイトル選択**

- 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。
  ①リモコンふた内の数字ボタンで、タイトル番号を選びます。
  （番号を選びなおすときは、リモコンふた内のクリアボタンを押します。）
  ②リモコンふた内の決定ボタンを押します。
- リモコンの でも設定できます。

2 **チャプター選択**

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
  ①リモコンふた内の数字ボタンで、チャプター番号を選びます。
  （番号を選びなおすときは、リモコンふた内のクリアボタンを押します。）
  ②リモコンふた内の決定ボタンを押します。
- リモコンの でも設定できます。

3 **再生経過時間**

- タイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
  ①リモコンふた内の数字ボタンで、時間を設定します。
  【例】1 時間 27 分 05 秒を設定するとき
  ⓪①②⑦⓪⑤
  （番号を設定しなおすときは、リモコンふた内のクリアボタンを押します。）
  ②リモコンふた内の決定ボタンを押します。
- リモコンの でも設定できます。
- BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

■字幕・映像・音声を切り換える

4 **字幕言語切換**

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。
  他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。
- リモコンの 字幕 でも切り換えられます。

5 **アングル番号／映像切換**

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
  複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
- 「アングルマーク表示」（→ **64** ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク を表示させるように設定することができます。
- リモコンの アングル でも切り換えられます。

6 **音声表示切換**

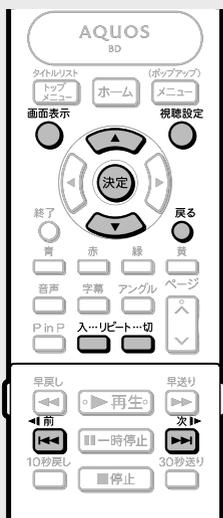
- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。
  吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。
- リモコンの 音声 でも切り換えられます。

■くり返し再生する

7 **リピート再生**

- 再生中のタイトル(チャプター)をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。リモコンの 入…リピート でもリピート再生できます。(→ **46** ページ)

くり返し再生する（リピート再生）

視聴設定でも、選んだタイトルやチャプター (章）をくり返し再生できます。

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- タイトルをまたぐ「部分を指定」でのリピートはできません。
- マルチアングル部分は「部分を指定」でのリピートはできません。
- BD ビデオは、「部分を設定」でのリピートはできません。

お知らせ

- リモコンの「画面表示」ボタンを押すと、リピートの状況が確認できます。

- 次 を押すと、リピート再生が中止され、次のチャプター（トラック）が再生されます。
- 前 を押すと、リピート再生が中止され、再生していたチャプター（トラック）の先頭に戻ります。

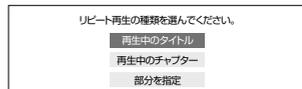
タイトルまたはチャプターをくり返すには

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2 再生中に 入…リピート 押す ⇨ リピート再生の選択画面を表示します

- 「視聴設定」（→ **44** ページ）でもリピート再生ができます。

3 リピート再生の種類を選んで決定します

⇨ リピート再生を開始します

・音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

再生中のタイトル：	再生中のタイトルをくり返し再生
再生中のチャプター：	再生中のチャプターをくり返し再生
部分を指定：	下記「特定の部分をくり返すには」参照

選択画面を消すには 戻る 押す

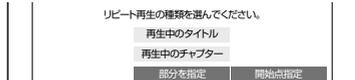
リピート再生を解除するには リピート…切 押す

- 「視聴設定」（→ **44** ページ）でも「切」にできます。

特定の部分をくり返すには

1 上記の手順 **3** で「部分を指定」を選んで決定します

2 開始点で 決定する

3 終了点で 決定する

⇨ 設定された範囲でリピート再生を開始します

リピート再生を解除するには リピート…切 押す

- 「視聴設定」（→ **44** ページ）でも「切」にできます。

メディアに保存された写真を表示する（画像再生）

- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、USB メモリーに保存されている写真（JPEG ファイル）やホームネットワーク上にある写真をテレビ画面で楽しむことができます。通常の再生では静止画が一枚ずつ表示されます。「スライドショー」では静止画が自動的に次々と切り換わります。
- JPEG ファイルとは、静止画ファイル（写真やイラストなど）を保存するファイル形式のひとつです。

■本機で再生できないファイル形式について

- JPEG 以外の静止画（TIFF など）は再生できません。
- JPEG 形式でもファイルによっては再生できない場合があります。
- プログレッシブ JPEG は再生できません。
- 動画ファイルや音声ファイル、また JPEG ファイルであっても MOTION JPEG は再生できません。

■その他、本機で再生できないファイルについて

- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピー等、編集された静止画は一部再生できない場合があります。

■静止画を再生するとき、次のような場合があります。

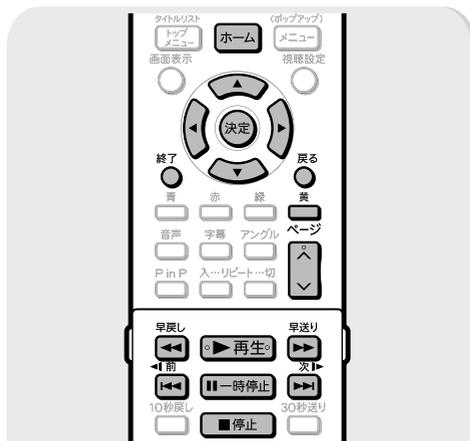
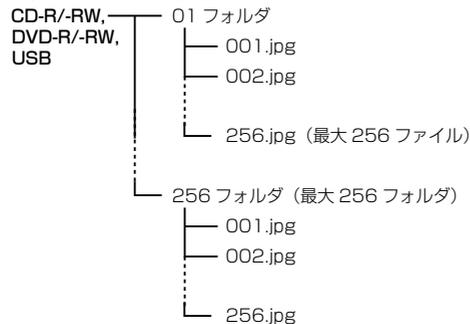
- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- EXIF 情報は表示されません。EXIF（Exchangeable Image File Format）とは、主に JPEG 圧縮で用いられる、画像ファイルに含まれる様々な情報を格納するための規格です。（詳しくは http://exif.org をご覧ください。）

■静止画を保存した CD-R/-RW、DVD-R/-RW、USB メモリーの再生について

- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、USB メモリーの場合、音楽や映画などと静止画が混在したディスクは再生できない場合があります。
- マルチセッション・ディスクは再生することができません。
- 画像加工ソフトで加工（回転や上書き保存）した静止画やインターネット、メールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- 本機は、次のようなデータが保存された CD-R/-RW が再生できます。
  - ISO9660 または Joliet フォーマットの CD-R/-RW
  - EXIF 情報を含んだ画像ファイル
  - 画像サイズ : 最小縦 32 ×最小横 32 ～最大縦 4320×最大横 7680 ピクセル
  - フォルダ数 : 最大 256
  - ファイル数 :1 フォルダ内最大 256/5 階層
  - ファイルサイズ : 20MB 以下

■静止画像 (JPEG) のフォルダ構造

CD-R/-RW、DVD-R/RW、USB メモリー上に次のようなフォルダを作ることにより、本機で静止画を再生することができます。

- 再生できるフォルダ階層は 1 階層のみです。

ご注意

- USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。

フォルダを選んで再生する

1 静止画が保存されたディスクをセットまたは、USB メモリーを取り付けます

20 ページ

- USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切り、クイック起動設定を「しない」に設定してください。
- USB メモリーは本体前面の外部メモリー 2 端子に取り付けることをお勧めします。

2 「画像」を選んで決定します

- フォルダの一覧画面になります。

■ディスクと USB メモリーの両方にデータがあるとき

- ディスク、USB メモリーまたはホームネットワークを選択する画面が表示されます。見たい写真が保存されているメディアを選んで決定するとフォルダの一覧画面になります。

- サムネイル設定ができるデジタルカメラの JPEG データは、サムネイルが表示されます。
- サムネイル設定のない JPEG データは、フォルダの一覧画面が表示されます。
- USB メモリー内のデータを再生中に、リモコンまたは本機のトレイ開／閉ボタンが押されたり、ディスクが本機にセットされると再生が停止されます。

次ページへつづく ▶▶▶

確認
準備
基本
再生
接続
各種設定
参考

3 見たい写真のあるフォルダを選んで決定します

■フォルダ選択中のとき

- ページ でページを送り／戻しすることができます。
- 決定 を押すと、フォルダ内の写真が再生されます。

■再生中のとき

- 1 つ前の写真に戻るとき：前 早戻し のいずれかを押します。
- 次の写真に進むとき：次 早送り のいずれかを押します。
- 緑 を押すと、写真が左に 90° 回転します。
- 黄 を押すと、写真が右に 90° 回転します。
- 青 を押すと、画面下のガイドの表示／非表示を切り換えられます。

■フォルダを選び直したいとき

- 戻る を押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

4 写真を見終わったら

■停止 押す

スライドショーで再生する

1 「フォルダを選んで再生する」の手順 3 で、再生ボタンを押します

▶再生 押す

- 選んだフォルダ内の静止画が、スライドショー再生されます。
- II一時停止 を押すと、スライドショー再生が中断されます。

  再開するときは ▶再生 を押します。

2 スライドショー再生を終了します

■停止 押す

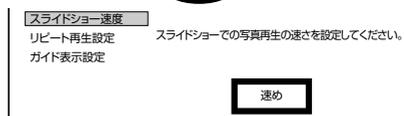
- 別フォルダの静止画をスライドショー再生するには、戻る を押したあと、再生したいフォルダを選びます。

スライドショーのスピードを設定する／繰り返し再生を設定する／ガイド表示を設定する

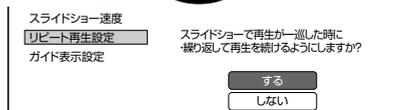
1 フォルダ選択画面の表示中に、写真再生設定を表示させます

黄 押す

- 「スライドショー速度」「リピート再生設定」「ガイド表示設定」の設定画面が表示されます。

2 「スライドショー速度」を選んで決定します

3 スライドショーの速度を選んで決定します

- 「速め」「普通」「遅め」「ゆっくり」のいずれかを選びます。

4 「リピート再生設定」を選んで決定します

5 「する」または「しない」を選んで決定します

6 「ガイド表示設定」を選んで決定します

選んで　決定する

スライドショー速度
リピート再生設定
ガイド表示設定

写真の再生開始時に、操作のガイドを
常に表示しますか?

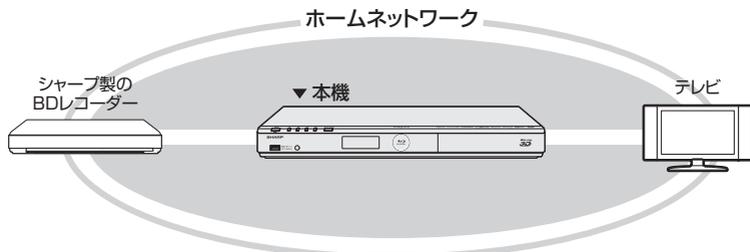
する
しない

7 「する」または「しない」を選んで決定します

8 設定を終了します

- 終了 を押すとホーム画面に戻ります

ホームネットワークで楽しむ

本機を LAN（Local Area Network）に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、DLNA 対応機器（パソコンや BD レコーダーなど）に保存された映像、音楽、写真を見ることができます。

ホームネットワーク機能とは

- 本機と DLNA 対応機器（パソコンやホームネットワーク対応のシャープ製 BD レコーダーなど）を LAN に接続することで、ネットワークを通じて機器を操作し、映像と音声を送ることができます。

必要な準備は

- ホームネットワーク対応機器が必要です。
- 使用可能な DLNA 対応の機器については、**シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。**
- 本機とホームネットワーク対応機器が LAN で接続されていることが必要です。
  - 有線 LAN 接続（→ **59** ページ）
  - 無線 LAN 接続（→ **60** ページ）
- DLNA 対応機器（パソコンや BD レコーダーなど）の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- DLNA 対応機器から再生操作をするときは、その機器の電源を「入」にしてください。電源が切れていると本機から再生が行えません。
- ホームネットワーク機能を利用するには、「無操作オフ設定」（→ **63** ページ）を「しない」に設定してください。

ホームネットワーク機器から再生したときに操作できる機能

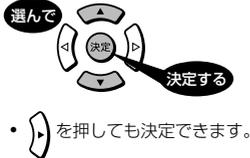
つづき再生	○※1
リピート再生	×
早送り／早戻し	×
一時停止	○
スロー再生	×
コマ送り再生	×
頭出し戻し	○
頭出し送り	×
タイムサーチ	○※2
30 秒送り	○※2
10 秒戻し	○※2

※ 1　つづき再生できるのは 1 タイトルのみです。電源を切るとつづき再生情報は消去されます。
※ 2　多少時間がズレる場合があります。

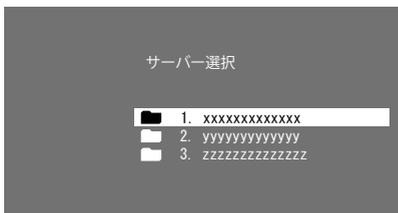
お知らせ

- 視聴年齢制限のあるタイトルを再生したとき、メッセージが表示され再生できない場合があります。
  ホームネットワークを使用し、視聴制限のあるタイトルを再生する場合は、「BD ビデオ / ホームネットワークの視聴制限年齢」（**64** ページ）を設定し直してください。
- 無線 LAN を使用して、DLNA 対応機器の映像を再生するときは、必ずセキュリティー方式（**75** ページ手順 6 ）を設定してください。設定していない場合、コピー制限のあるタイトルは再生できない場合があります。
- 無線 LAN 接続を使用し動画を視聴するとき、接続先の機器や再生するタイトルによっては映像や音声が途切れる場合があります。ハイビジョンなど高画質映像をホームネットワークで視聴するときは、より安定した再生が楽しめる「有線 LAN 接続」をおすすめします。

■ホームネットワーク上のファイルを再生する

1 「動画」、「画像」、または「音楽」を選んで決定します

- ▷ を押しても決定できます。

2 「ホームネットワーク」を選んで決定します

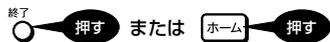
3 アクセスしたいDLNAサーバを選んで決定します

- フォルダやファイルのリストが表示されます。
- 戻る を押すと、前の画面に戻ります。

4 アクセスしたいフォルダまたは再生したいファイルを選んで決定します

- フォルダを選んだ場合、そのフォルダに含まれるフォルダやファイルのリストが表示されます。再度手順 4 の操作を行ってください。
- ファイルを選んだ場合、再生が開始されます。再生中の操作については、**39** ～ **41** ページをご覧ください。

5 再生を止めるには

- 手順 4 の画面に戻ります。
- 戻る を押すと、前の画面に戻ります。

6 ホーム画面に戻るには

YouTube にアクセスする

- 本機は、インターネットに接続して、YouTube のストリーミングビデオを楽しむことができます。
- YouTube については、お手持ちのパソコンで YouTube の WEB サイト (http://www.youtube.com) をご覧ください。

ご注意

- YouTube 機能を楽しむためには、インターネット接続（→ **59** ～ **60** ページ）および通信設定（→ **71** ～ **75** ページ）が必要です。
- また、「無操作オフ設定」（→ **63** ページ）を「しない」に設定することをお勧めします。

お知らせ

- ビデオにより、本機では再生できない場合があります。
- 下記の説明と実際に操作できる機能は、異なる場合があります。
- YouTube の画面にある設定項目「標準版を見る」やログイン画面の「アカウントにアクセスできない場合」を選んだときは、画面を表示し直す動作となります。

1 「インターネット」を選んで決定します

- リモコンの インターネット を押しても YouTube にアクセスできます。

2 「YouTube」を選んで決定します

- YouTube の画面になります。

3 画面の指示に従って、操作してください

4 YouTubeを終了するには

■再生操作ボタン

ボタン	説明
❚❚	ビデオを一時停止します。再生を再開するには、▶ を押してください。
⏮	ビデオリストの一つ前のビデオに移動します。
⏭	ビデオリストの次のビデオに移動します。
🔁	ビデオリストのすべてのビデオを繰り返し再生します。
HQ	高画質なビデオに切りかえます。
▢	通常画面表示とフルスクリーン表示を切りかえます。
プログレスバー	◁ または ▷ を押し、再生中のビデオで見たい地点を選びます。

お知らせ

- フルスクリーン表示中に再生操作ボタンを表示するには、（ポップアップ）メニュー を押します。
- メインページに戻るには、タイトルリスト トップメニュー を押します。

接続と設定

この章では、テレビと本機との接続、本機をより活用していただくための設定などについて説明しています。

HDMI ケーブルでテレビと接続する

オーディオ機器と接続する

アクオスオーディオと接続する

ネットワークに接続する

各種の基本設定

「各種設定」で設定できる項目

視聴制限やディスク優先言語を設定する

暗証番号を設定する

ファミリンクのための設定をする

テレビのリモコンで本機の再生操作をする

ネットワークの設定をする

USB メモリーのデータを消去する

ソフトウェアを更新する

HDMIケーブルでテレビと接続する

HDMI 出力端子は、映像と音声のデジタル信号を 1 本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。

- 本機が接続できるテレビは、HDMI端子付きのみです。

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。

- 「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」と接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。

「AQUOS純モード」について
- 「ファミリンク機能」を使用する設定をしているとき、本機のHDMI端子からは「アクオス」に最適な画質に調整された映像が出力されます。

ファミリンク対応機種は?
- 以下の手順で「ファミリンク対応」および「AQUOS純モード」対応の機種がご確認いただけます。
  ① DVD/BDサポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.htmlにアクセスします。
  ② 「■使い方が分からないときは」の「?Q&A情報」をクリックします。
  ③ 「■「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）」の「▼AQUOSファミリンクとは?　対応している機種は?」をクリックします。
  ④ 確認したい製品（「液晶テレビ AQUOS」、「AQUOSハイビジョンレコーダー／AQUOSブルーレイ」、「AQUOSオーディオ／AQUOSサラウンド（BD1ビットシアターシステム／1ビットシアターラックシステム）」）をクリックします。

- 「HDMI映像出力設定」（解像度）は「オート」に設定されます。
  「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、下記の「付属のHDMIケーブル（19ピン）を使ってテレビと接続したとき」の表を参考に出力解像度を変更してください。
- DVIデジタル入力端子付きの機器とDVI-HDMI変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。また、DVI-HDMI変換ケーブルを使いDVI機器と接続したときは、DVI機器に音声が入力されません。）

「HDMI映像出力設定」（→62ページ）と「音声出力設定」（→62ページ）が必要な場合は、「各種設定」－「映像・音声設定」で設定を行ってください。

※「AQUOS純モード」に対応した「アクオス」と接続すると、BDビデオ/DVDビデオ再生時や、ホーム画面操作時、写真再生時に、自動的に「アクオス」で画面サイズ調整や映像調整が行われ、最適な映像を楽しむことができます。

■付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使ってテレビと接続したとき

設定する項目	選ぶ内容
解像度の設定 「映像・音声設定」－「HDMI 映像出力設定」	「HDMI 映像出力設定」－ 「オート」「1080p」「1080i」「720p」「480p」 • 通常は「オート」に設定します。
デジタル音声出力の設定 「映像・音声設定」－ 「音声出力設定」	「音声出力設定」 「ビットストリーム」「PCM」 • 通常は「PCM」に設定します。

- 「HDMI 映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。）
- HDMI 端子から 480p の出力をしているときは、96kHz/192kHz の PCM 音声は、48kHz で出力されます。

オーディオ機器と接続する

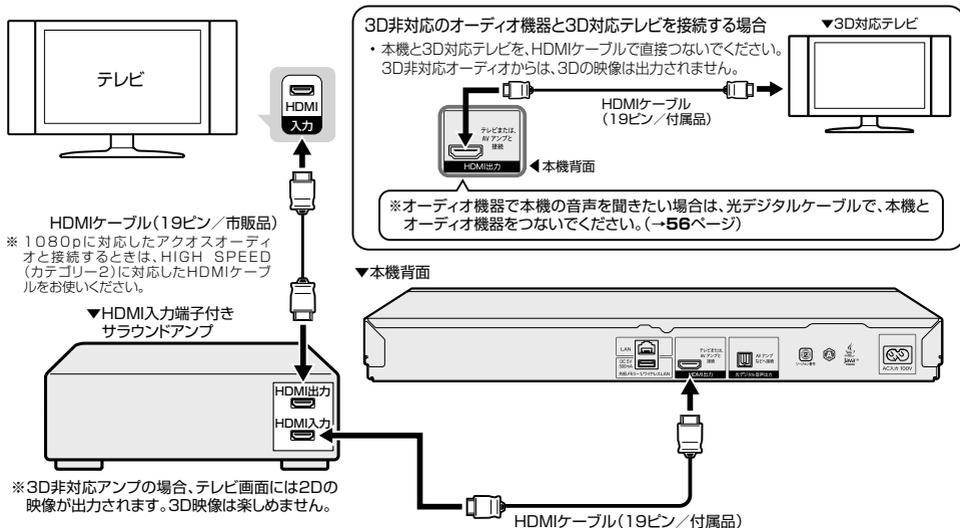
本機をさらに楽しむために、必要に応じてオーディオ機器と接続しましょう。

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

HDMI入力端子付きのオーディオ機器と接続する場合

本機の音声をHDMI入力端子付きオーディオ機器で楽しむための接続です。
- 次世代オーディオフォーマットのデコードに対応したAV アンプなどとHDMI 接続することにより、ブルーレイディスクに記録されている最大7.1chのロスレスオーディオ「DTS-HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」音声など大迫力の高音質サラウンド音声が楽しめます。
- オーディオ機器側の接続については、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

※3D非対応アンプの場合、テレビ画面には2Dの映像が出力されます。3D映像は楽しめません。

ご注意

- HDMIケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続した機器に合わせて以下の設定を行ってください。
  ① 接続した機器に合わせ、「音声出力設定」を「ビットストリーム」「PCM」に設定します。設定内容は**62**ページをご覧ください。

·オーディオ機器の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

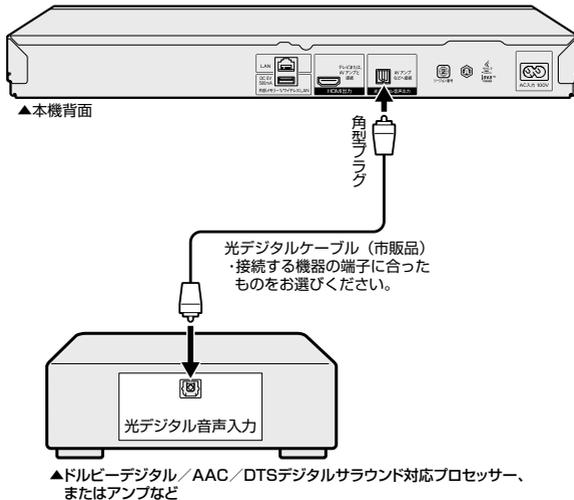
ファミリンク機能を搭載したシャープ製のアクオスモデルと接続する場合……… 57~58ページ

次ページへつづく ▶▶▶

光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器と接続する場合

本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

- 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル（5.1ch）や DTS などの迫力ある音響効果を楽しめます。
  - ドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
  - DTS 音声を楽しむには、DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
  - DTS デジタルサラウンド音声を楽しむときは、DVD 再生時にディスクメニューで DTS 音声を選ぶか、リモコンの 音声 で DTS 音声を選んでください。音声の選びかたについては、**42** ページをご覧ください。
  - DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「音声出力設定」（**62** ページ）で「ビットストリーム」に設定します。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

▲ドルビーデジタル／AAC／DTSデジタルサラウンド対応プロセッサー、
またはアンプなど

接続後は、音声出力設定を行ってください。（62ページ）

ご注意

- 光デジタルケーブル（市販品）は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは「音声出力設定」（**62** ページ）の各項目の設定をしてください。
- 光デジタルケーブル（市販品）を使用する場合は、5.1ch 音声を出力することができます。7.1ch 音声を出力するには、HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）をご使用ください。（→ **55** ページ）

お知らせ

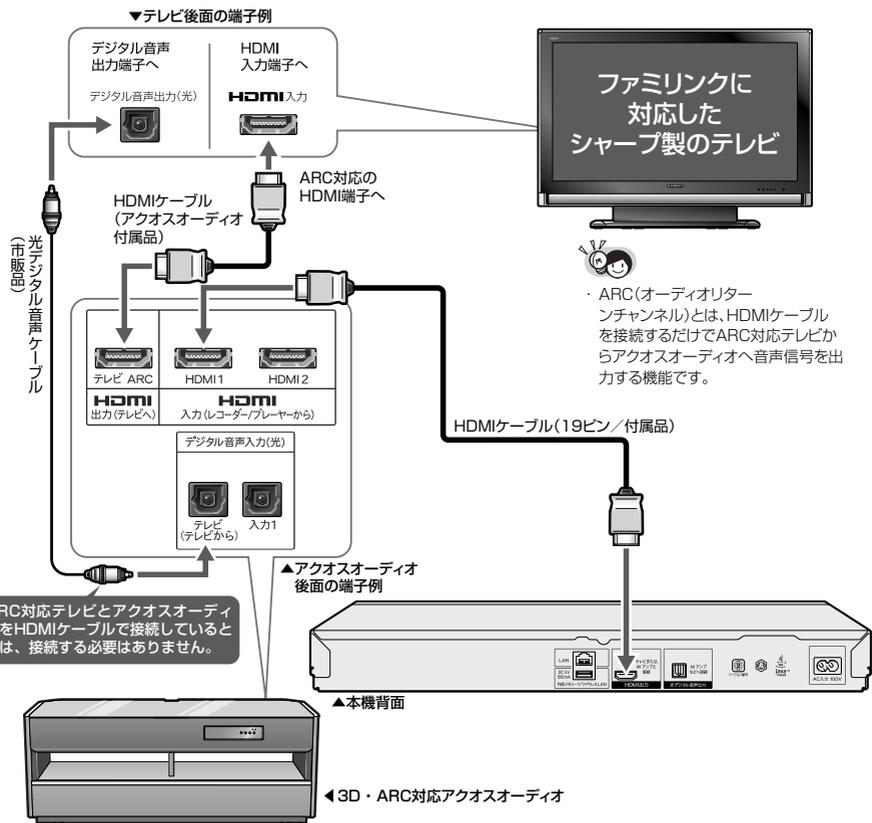
デジタル音声出力について

- 二ヶ国語放送や二ヶ国語放送を録画した番組の再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
- 音楽用 CD を再生したとき、音声の切り換えはできません。
- 光デジタル音声出力端子はデジタル音声を MD などに複製できません。
- デジタル音声出力形式（PCM またはビットストリーム）の詳細については、**63** ページの「音声出力設定と出力される音声について」をご覧ください。

アクオスオーディオと接続する

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- アクオスオーディオ側の接続については、アクオスオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

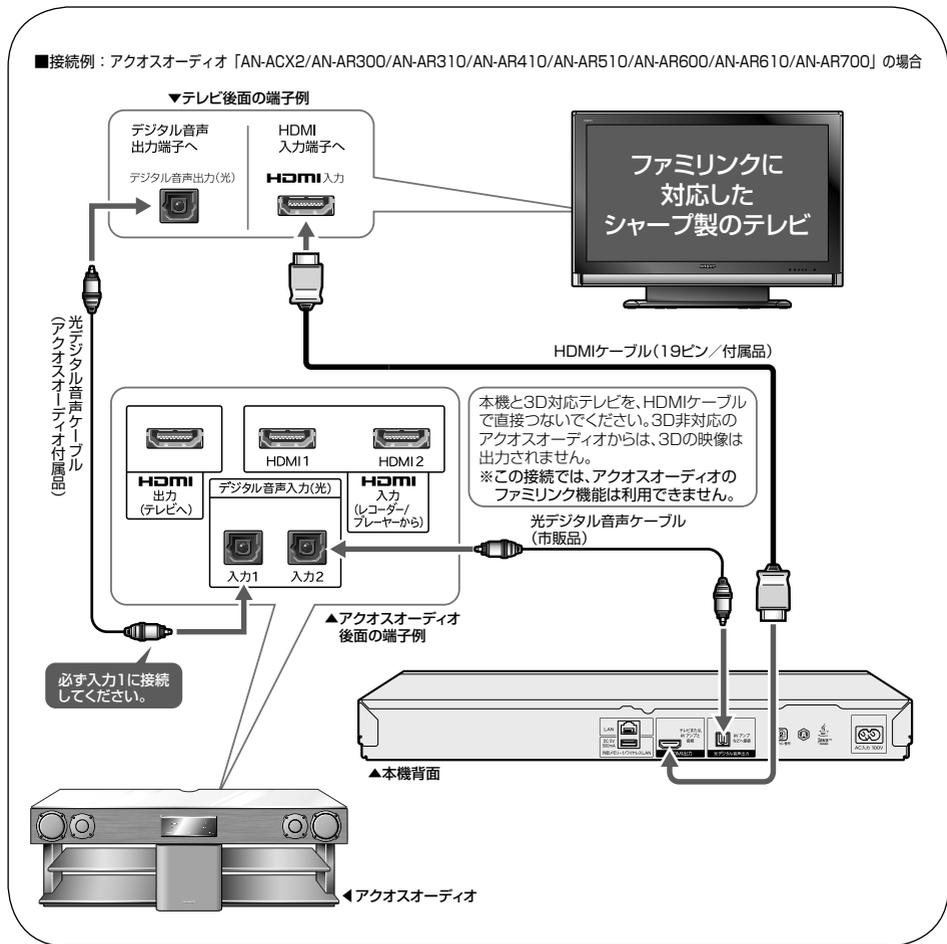
本機と 3D 対応テレビ、3D 対応のアクオスオーディオを接続する場合
本機と 3D 非対応テレビ、アクオスオーディオ（3D 対応／非対応）を接続する場合

ファミリンクの設定については**68**～**69**ページ

次ページへつづく ▶▶▶

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- アクオスオーディオ側の接続については、アクオスオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機と 3D 対応テレビ、3D 非対応のアクオスオーディオを接続する場合

■接続例：アクオスオーディオ「AN-ACX2/AN-AR300/AN-AR310/AN-AR410/AN-AR510/AN-AR600/AN-AR610/AN-AR700」の場合

ファミリンクの設定については**68**～**69**ページ

ネットワークに接続する

- BD-LIVE 対応の BD ビデオには、インターネット経由（LAN 経由）で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。
- また、インターネットに接続すると YouTube の動画もお楽しみいただけます。
  この場合、LAN※接続と LAN の設定（→ **71 ～ 75** ページ）が必要となります。（プロバイダとの契約も必要です。また、サービス内容の詳しい情報は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。）
- 下記の接続機器などが必要です。
  ※ LAN（Local Area Network）

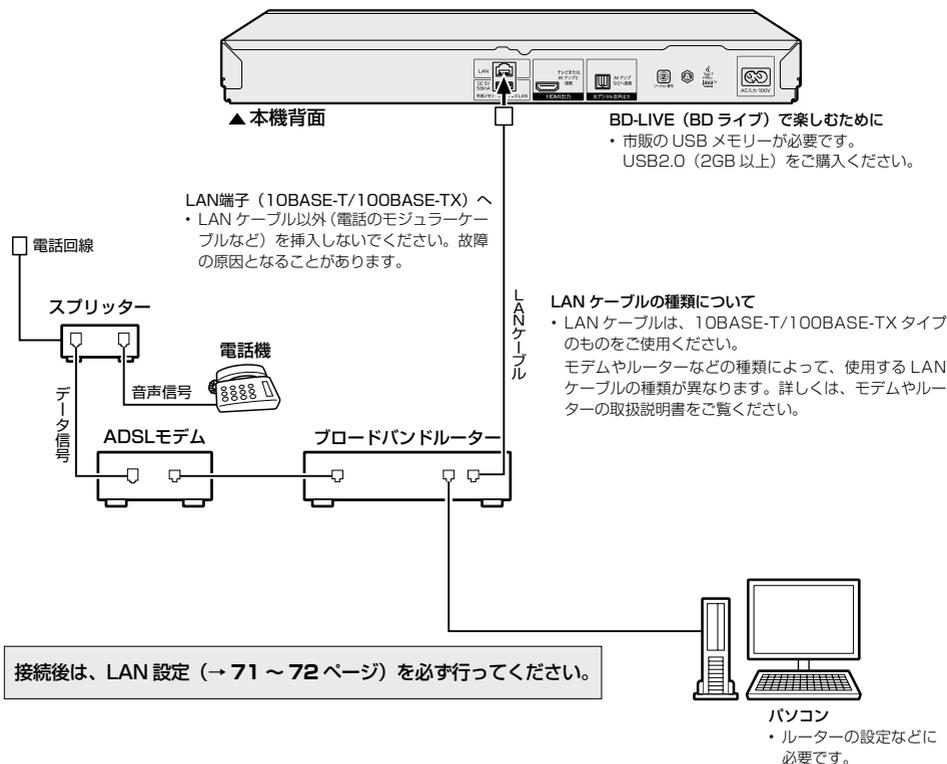
LAN 接続のしかた（有線 LAN の場合）

（ADSL での接続の一例です）

- **回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。**
- **本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。**

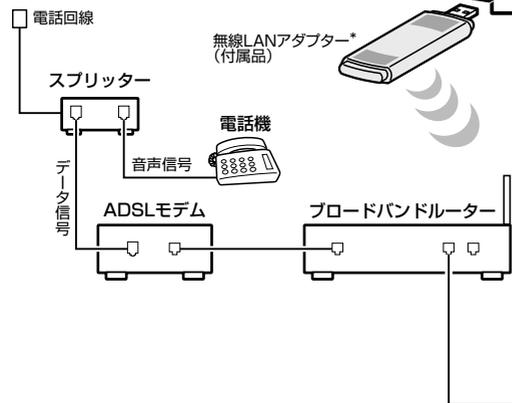
- **ADSL など、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL 事業者にお問い合わせください。**

接続後は、LAN 設定（→ 71 ～ 72 ページ）を必ず行ってください。

次ページへつづく ▶▶▶

LAN 接続のしかた（無線 LAN の場合）

（ADSL での接続の一例です）

- 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。
- 無線 LAN のご使用には無線 LAN に対応しているブロードバンドルーターが必要です

- ADSL など、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL 事業者にお問い合わせください。

* 無線 LAN 接続による通信設定をする際に無線 LAN アダプターの MAC アドレスの入力が必要になります。無線 LAN アダプターの MAC アドレスをメモしておくことをおすすめします。（→ **71** ページ）

メ モ 欄

MAC アドレス ＿＿＿＿＿＿＿＿

接続後は、LAN 設定（→ 73 ～ 75 ページ）を必ず行ってください。

ご注意

- 無線 LAN アダプターを取り付けたり外したりする場合は、「クイック起動設定」（**63** ページ）を「しない」に設定し、本機の電源を必ず切ってください。
- ブロードバンドルーターおよびアクセスポイントは、IEEE802.11 n（2.4GHz/5GHz 同時使用可）の製品をお選びください。無線通信がより安定した IEEE802.11 n（5GHz 帯）の使用をおすすめします。
- 無線 LAN はその性質上、アクセスポイントの動作性能、機器間の距離、障害物の有無、および他の無線機器による干渉など、ご使用の条件によりパフォーマンスが低下し、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- ブロードバンドルーターおよびアクセスポイントはインフラストラクチャモードに設定してください。本機は、アドホックモードには対応しておりません。
- 付属の無線 LAN アダプター以外を本機で使用することはできません。
- ブロードバンドルーターにより、本機との無線通信ができない場合があります。

各種設定の基本操作

「各種設定」では、本機をより活用していただくための設定ができます。

お知らせ

・操作中、間違ったときや設定しなおしたいときは

戻る 押す ⇨ 1 つ前の画面に

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

3 設定したい項目を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

（映像・音声設定の場合）

4 画面下のガイド表示にしたがって設定を進めます

例）「音声出力レベル」を「シフト」に設定する場合の操作例

① 「音声出力レベル」を選んで決定します

② 「シフト」を選んで決定します

5 設定を終了します

・ ホーム を押しても終了できます。

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

「各種設定」で設定できる項目

☆の付いたものは、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。

映像・音声設定

HDMI 映像出力設定

付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って本機とテレビを接続したときの設定です。本機の HDMI 端子から出力される映像の解像度を設定します。
通常は「オート」に設定してください。

設定項目	設定内容
オート☆※	通常は「オート」に設定します。
1080p	1080p の映像を出力します。
1080i	1080i の映像を出力します。
720p	720p の映像を出力します。
480p	480p の映像を出力します。

※ 1080p 24Hz 対応のテレビと接続し、BD ビデオの 1080p 24Hz 映像を再生するときは「オート」に設定してください。

BD ビデオ付加音声

BD ビデオのメニューのクリック音や第 2 音声（PinP の音声など）を有効にするかどうかの設定です。

設定項目	設定内容
有効☆※1	メニューのクリック音や第 2 音声を有効にします。
無効※2	メニューのクリック音や第 2 音声を無効にします。

※ 1「有効」に設定した場合
- 6.1ch 以上の音声は、5.1ch 音声として出力されます。
- 「HDMI 出力」は、「PCM」に固定されます。

※ 2 BD ビデオを高音質で楽しみたいときは、「無効」に設定します。

音声出力設定

サラウンド対応のオーディオ機器と接続したときの設定をします。
· 設定は「1. サラウンド機器と接続した端子の設定」で、項目のいずれか 1 つだけ設定してください。

1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。

設定項目	設定内容
HDMI 出力☆	HDMI 出力端子を使って接続したとき。
デジタル音声出力	光デジタル音声出力端子を使って接続したとき。

2.「音声出力設定」の「1.」で選択した端子の音声出力方式を設定します。

「HDMI 出力」を選択したとき

設定項目	設定内容
ビットストリーム	• ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵した HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • 接続されている機器に適した音声方式で音声を出力します。
PCM ☆（サラウンド）	• マルチチャンネル PCM 対応の HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • ドルビーデジタル、DTS、AAC などの各種音声方式で記録された音声をデコードし、PCM で出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。
- BD ビデオ付加音声が「有効」に設定されているときは、「HDMI 出力」は「PCM（サラウンド）」に設定されます。

「デジタル音声出力」を選択したとき

光デジタル音声出力端子から出力する音声方式を設定します。

設定項目	設定内容
ビットストリーム	ドルビーデジタル、DTS、AAC デコーダーを内蔵したサラウンド機器と接続しているときに選択します。それぞれの音声をビットストリームで出力します。
PCM（ステレオ）☆	ステレオ（2ch 音声）タイプのオーディオ機器と接続するときに選択します。それぞれの音声を PCM 2ch 音声に変換して出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。
- 音声出力方式の詳細については、次ページの「音声出力設定と出力される音声について」をご覧ください。

設定確認画面について

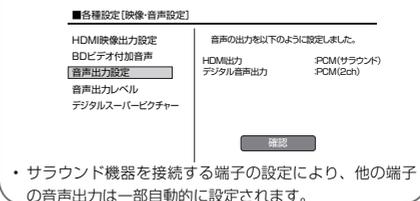
- 各設定が完了すると設定確認画面が表示されます。「確認」で決定を押すと設定が完了します。

■各種設定［映像･音声設定］

HDMI映像出力設定
BDビデオ付加音声
音声出力設定
音声出力レベル
デジタルスーパーピクチャー

音声の出力を以下のように設定しました。

HDMI出力　:PCM(サラウンド)
デジタル音声出力　:PCM(2ch)

確認

- サラウンド機器を接続する端子の設定により、他の端子の音声出力は一部自動的に設定されます。

音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
ノーマル	記録されている音声をそのまま出力します。
シフト※	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整します。（音声が正常に聞こえないときはノーマルにしてください。）
オート☆	自動で音声を選択し、出力します。

※設定する際は、テレビやアンプの音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

デジタルスーパーピクチャー

映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとさせることができます。

設定項目	設定内容
入☆	ストリーミングビデオの品質が向上します。
切	デジタルスーパーピクチャーを「切」にします。

音声出力設定と出力される音声について

オーディオフォーマットの出力について

オーディオフォーマット	最大チャンネル数	HDMI		デジタル出力	
		PCM	ビットストリーム	PCM	ビットストリーム
ドルビーTrueHD	7.1ch (48kHz/96kHz)	7.1ch ※3	7.1ch ※4	2ch ※2	5.1ch ※1/※3
	5.1ch (192kHz)	5.1ch ※3	5.1ch ※4	2ch ※2	5.1ch ※1/※3
ドルビーDigital PLUS	7.1ch (48kHz)	7.1ch	7.1ch ※4	2ch ※2	5.1ch ※1/※3
DTS-HD Master Audio	7.1ch (48kHz/96kHz)	7.1ch ※3	7.1ch ※4	2ch ※2	5.1ch ※1/※3
	5.1ch (192kHz)	5.1ch ※3/※5	5.1ch ※4	2ch ※2	5.1ch ※1/※3
DTS-HD High Resolution Audio	7.1ch (48kHz/96kHz)	7.1ch ※3	7.1ch ※4	2ch ※2	5.1ch ※1/※3
LPCM	7.1ch (48kHz/96kHz)	7.1ch ※3	—	2ch ※2	—
	5.1ch (192kHz)	5.1ch ※3	—	2ch ※2	—
AAC	5.1ch (48kHz/96kHz)	5.1ch	5.1ch	2ch	5.1ch

※1　コアストリームのみ出力されます。
※2　それぞれの音声を、PCM2ch音声に変換して出力します。
※3　「BDビデオ付加音声」を「有効」に設定しているとき、音声は48kHzで出力されます。
※4　「BDビデオ付加音声」を「有効」に設定しているとき、音声はPCMで出力されます。
※5　5.1ch（192kHz）のときは、96kHzにダウンサンプリングされた音声が出力されます。2chのときは、192kHzの音声が出力されます。

・本機の光デジタル音声出力端子から出力される音声は複製ができません。

便利な機能

クイック起動設定

待機状態から電源ボタンを押すとすぐに起動できるようにする機能です。

設定項目	設定内容
する	本機の起動が速くなりますが、消費電力が増えます。
しない☆	本機が待機状態になると、低電力消費モードになります。

無操作オフ設定

再生を止めた状態で操作をしない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約 10 分続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	操作をしない状態が続いても、自動的に電源を切りません。

- 無操作オフ機能は、再生を行っているときは働きません。
- インターネットに接続される場合は「しない」にしてください。

液晶設定

本体のランプを点灯させるか消灯させるかの設定をします。

設定項目	設定内容
点灯☆	電源が入っているときに本体前面のランプを点灯させます。
消灯	本体前面のランプ※は消灯します。

※ 電源ランプは消灯しません。

操作パネル

ファミリンク対応のシャープ製液晶テレビアクオスと接続したときにテレビのリモコンで本機の操作が行える操作パネルを表示させる設定をします。

設定項目	設定内容
する☆	操作パネルを表示します。
しない	操作パネルを表示しません。

ファミリンク連動設定

HDMI ケーブルで接続したシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」から操作できるようにするかしないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMI ケーブルで接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMI ケーブルで接続した機器から操作できないようにします。

- シャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」が必要です。（ファミリンク機能を「HDMI コントロール機能」と表記しているテレビもあります。）

BD/DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。設定方法については **65** ページをご覧ください。

DVD ビデオ視聴制限レベル

視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

次ページへつづく ▶▶▶

BD ビデオ / ホームネットワークの視聴制限年齢

BD ビデオやホームネットワークを使用した映像の視聴制限年齢を設定できます。

設定項目	設定内容
無制限☆	年齢制限をしません。
0 歳を制限〜 99 歳以下を制限	0 歳〜 99 歳の間で年齢制限をします。

BD ビデオ／ DVD ビデオ国コード

• BD ビデオや DVD ビデオの国コードを選びます。

設定項目	設定内容
(国コード)	国コードを選びます。

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。
設定方法については **66** ページをご覧ください。

字幕言語

設定項目	設定内容
日本語☆	字幕言語を選びます。

音声言語

設定項目	設定内容
英語☆	音声言語を選びます。

メニュー言語

設定項目	設定内容
日本語☆	メニュー言語を選びます。

• 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクのメニューを使って選ぶ場合があります。

アングルマーク表示

DVD ビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「🎥」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

暗証番号設定

本機は視聴制限や BD-LIVE 設定を行うときに、暗証番号を使います。
設定方法については、**67** ページをご覧ください。

BD-LIVE 設定

• BD-LIVE 対応の BD ビデオディスクには、インターネット経由（LAN 経由）で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。
  BD-LIVE 設定で、インターネットへの接続の許可や禁止の設定ができます。
• BD-LIVE 設定は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
許可する	すべてのディスクを許可します。
条件付き許可☆	不正に作られたディスクなど、BD-LIVE 番組制作者の証明書が含まれていないディスクのインターネットへの接続を制限します。
禁止する	すべてのディスクを禁止します。

3D 切換設定

• ブルーレイ 3D™ を、3D または 2D のどちらで再生するか、設定できます。
• この設定は、「HDMI 映像出力設定」（→ **62** ページ）を「オート」にした場合に設定できます。

設定項目	設定内容
オート☆	ブルーレイ 3D™ ディスクを 3D 映像で視聴するときに選択します。
2D	ブルーレイ 3D™ ディスクを 2D 映像で視聴するときに選択します。

3D 通知設定

ブルーレイ 3D™ の再生時に、再生に関する注意文を表示させるか表示させないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	再生時にブルーレイ 3D™ の注意文を表示します。
しない	再生時にブルーレイ 3D™ の注意文を表示しません。

• 「する」を選ぶと、ブルーレイ 3D™ の再生時に注意文が表示されます。

Language・表示言語設定

ホーム画面などの言語を変更したいとき、英語と日本語を切り換えることができます。

通信設定

設定について詳しくは **71 〜 75** ページをご覧ください。

システムバージョン表示

本機のシステムのソフトウェアバージョンを表示します。

USB メモリー管理

• BD-LIVE（BD ライブ）や BD ビデオで個別に設定したブックマークやゲームのスコアなどを消去することができます。
• 設定について詳しくは **78** ページをご覧ください。

ソフトウェアの更新

• 設定について詳しくは **79 〜 82** ページをご覧ください。

システム

設定リセット

本機に保存している設定情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
リセットする	リセットして、本機に保存している設定情報を、初期状態に戻します。
リセットしない☆	リセットしません。

• 暗証番号の設定もリセットされます。
• 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
• LAN 設定もリセットされます。

DivX(R) 登録

DivX 登録コードと登録に必要な内容を説明しています。

設定項目	設定内容
確認	内容の確認

DivX(R) 登録解除

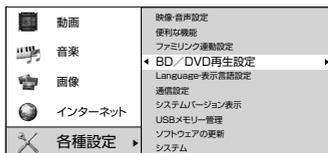
本機の DivX 情報を解除します。

設定項目	設定内容
する	DivX 情報を継続します。
しない	DivX 情報を継続しません。

視聴制限やディスク優先言語を設定する

DVD ビデオや BD ビデオ、ホームネットワークを使用した映像の視聴制限と、ディスク優先言語を設定します。

視聴制限を設定する

1 「各種設定」－「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号 ☞ 67 ページ を入力します

4 DVD ビデオの視聴制限レベルと BD ビデオ / ホームネットワークの視聴制限年齢を設定します

- DVD ビデオの視聴制限レベルについては **63** ページをご覧ください。
- BD ビデオ / ホームネットワークの視聴制限年齢については **64** ページをご覧ください。

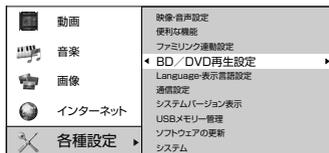
5 国コードを設定します

6 設定を終了します

- ホーム を押しても終了できます。

確認
準備
基本
再生
接続
各種設定
参考

ディスク優先言語を設定する

1 「各種設定」ー「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「ディスク優先言語」を選んで決定します

3 字幕言語を設定します

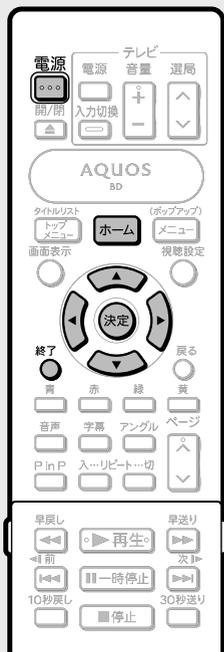
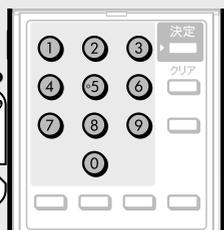
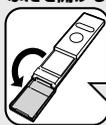
4 音声言語を設定します

5 メニュー言語を設定します

6 設定を終了します

- ［ホーム］を押しても終了できます。

暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

・暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

・「各種設定」－「システム」－「設定リセット」を行うと暗証番号設定がリセットされます。暗証番号を設定し直してください。

次の設定をするときに、暗証番号が必要となります。

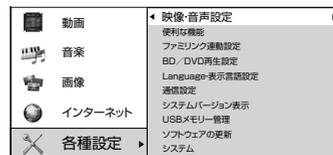
・視聴制限レベル
・BD-LIVE 設定
・ソフトウェアの更新

1 テレビと本機の準備をします

18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

・ ▶を押しても決定できます。

3 「BD/DVD 再生設定」を選んで決定し、「暗証番号設定」を選んで決定します

4 「する」を選んで決定します

5 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力します

6 確認のためもう一度入力します

7 「確認」で決定します

8 設定を終了します

・ ホーム を押しても終了できます。

ファミリンクのための設定をする

- 本機の再生などの操作にあわせてテレビの電源を入れたり、テレビの画面を本機の画面に切り換えたりするなどの連動操作が行える「ファミリンク」を楽しむための設定をします。
- 設定の説明では、ファミリンク対応のテレビを「テレビ」と表現しています。
- テレビの設定は、「LC-42GX3W」を例に説明しています。
製品により設定が異なります。テレビの設定について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

- テレビ側の設定は、本機に付属のリモコンではできません。テレビに付属のリモコンで行ってください。
- 本機側の設定（**69** ページ）は、本機に付属のリモコンで行ってください。

テレビ側の設定をする（連動起動設定）

- 本機の操作に連動してテレビの入力を自動で切り換えるための設定です。
- 設定は、テレビに付属のリモコンをテレビに向けて行ってください。

1 テレビと本機の準備をします 18〜19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 テレビのメニューを表示します

3 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

- テレビの種類によっては「HDMI コントロール設定」と表示されます。

選んだ項目は
黄色で表示されます。

4 「連動起動設定」を選んで決定します

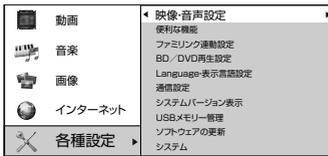
5 「する」を選んで決定します

本機側の設定をする（連動設定）

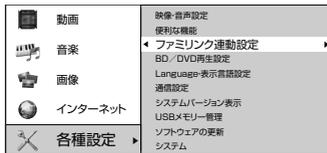
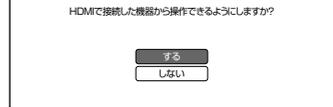
- テレビ側の設定をしたら、続いて本機側の設定をします。
- 設定は、本機に付属のリモコンを本機に向けて行ってください。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

3 「ファミリンク連動設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

4 「する」を選んで決定します

5 設定を終了します

- ホーム を押しても終了できます。

操作パネルの設定をする

1 「各種設定」－「便利な機能」の「操作パネル」を選んで決定します

2 「する」を選んで決定します

- 表示させたくないときは「しない」を選んで決定します。

3 設定を終了します

- ホーム を押しても終了できます。

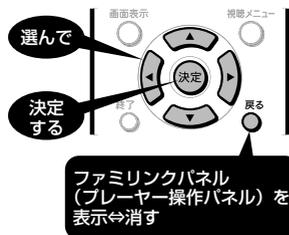
テレビのリモコンで本機の再生操作をする

- テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えると、テレビのリモコンでプレーヤーの再生操作が行えるファミリンクパネル(プレーヤー操作パネル)を表示させることができます。「各種設定」ー「便利な機能」ー「操作パネル」で「する」に設定してください。(→**69**ページ)

■ファミリンクパネル画面

1 テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えます

2 テレビのリモコンの「戻る」ボタンを押します

- 本機の再生操作を行うファミリンクパネル(プレーヤー操作パネル)が表示されます。プレーヤーのリモコンと同じ再生操作が行えます。
- 表示を消したいときは、テレビのリモコンの「戻る」ボタンを押します。押すたびに、表示↔消すと切り換わります。

- ファミリンクパネル(プレーヤー操作パネル)の位置を変更したいときはテレビのリモコンの「青」ボタンを押します。
- テレビのリモコンで再生操作をしたときは、テレビ画面にファミリンクパネル(プレーヤー操作パネル)が表示されます。(何も操作をしない状態が10秒を過ぎると、ファミリンクパネル(プレーヤー操作パネル)は自動的に消えます。)
- ファミリンクⅡに対応したテレビの場合は、プレーヤーのファミリンクパネル(操作パネル)は表示されません。テレビ自体のファミリンクパネルが表示されます。
- テレビのファミリンクパネルを表示させたとき、本機で操作できないボタン(コマ戻しボタンなど)が表示される場合があります。
操作できるボタンは、本機で操作可能なボタンのみです。

お知らせ

- プレーヤーのリモコンで再生操作をしたとき、ファミリンクパネル(プレーヤー操作パネル)は表示されません。

■ファミリンクパネルのボタンアイコン

ボタン	説明
ポップアップメニュー	BD またはＤＶＤのポップアップメニュー画面で表示します。
トップメニュー タイトルリスト	BD または DVD のトップメニュー画面を表示します。
視聴設定	BD または DVD の視聴設定を表示します。
早戻し	早戻しをします。
再生	再生をします。
早送り	早送りをします。
前	チャプターの先頭へ移動します。
一時停止	一時停止をします。
次	次のチャプターへ移動します。
10秒戻し	少し前(10秒)に戻ります。
停止	停止します。
30秒送り	少し先(30秒)に飛びます。
表示 切	ファミリンクパネルを終了します。

ネットワークの設定をする

- インターネットに接続して BD-LIVE の機能を利用する場合や、ホームネットワークに接続する場合に必要な設定です。
- DHCP サーバー機能のない（使用していない）モデムまたはルーターをお使いの場合は、本機の情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。確認後、メモ欄にメモしておくことをおすすめします。

	メ モ 欄
IP アドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
DNS のアドレス	プライマリ
	セカンダリ

- 無線 LAN の MAC フィルタリングを行う場合、無線 LAN アダプターの MAC アドレスの入力が必要です。LAN 設定の内容を確認（→ **72** ページ）し、メモ欄にメモしておくことをおすすめします。

MAC アドレス	

ご注意

- プロバイダと LAN 接続の契約をしていない場合は、BD-LIVE の機能が楽しめません。

ふたを開ける

LAN 接続方法を選ぶ

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

- ▶を押しても決定できます。

3 「通信設定」を選んで決定します

4 「LAN 接続方法」を選んで決定します

5 「有線」または「無線」を選んで決定します

LAN 設定を行う（有線）

1 このページ「LAN 接続方法を選ぶ」の手順 **1** ～ **3** を行います

2 「LAN 設定 (有線)」を選んで決定します

3 「変更する」を選んで決定します

次ページへつづく ▶▶▶

■ IP アドレスを設定する

4 「する」または「しない」を選んで決定します

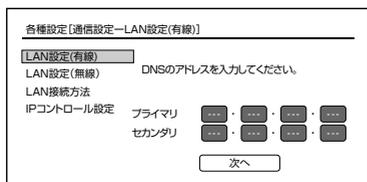
「する」
- IP アドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターの DHCP サーバー機能を利用します。）

「しない」
- 「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、文字入力画面または数字ボタンを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

5 「次へ」で決定します

- 手順 4 で「する」を選んだ場合は、手順 8 に進みます。

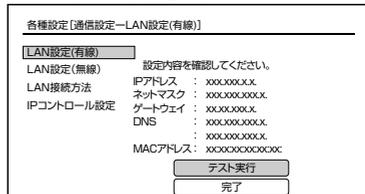
■ DNS のアドレスを設定する

6 DNS のアドレスを入力します

- 「プライマリ」と「セカンダリ」のアドレスを、文字入力画面または数字ボタンを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

7 「次へ」で決定します

■ LAN に接続するためのテストをする

8 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

- テスト実行は、IP アドレスを自動で取得する設定のときのみです。IP アドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。

- 設定した内容はメモしておくことをおすすめします。
- LAN 設定したが通信エラーとなるときは、一度電源を切り、LAN ケーブルの接続を確認し、再度電源を入れ手順 1 から設定し直してください。

9 設定を終了します

- ホーム を押しても終了できます。

■ LAN 設定の内容を確認（再設定）する

1 テレビと本機の準備をします

18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

3 「通信設定」を選んで決定します

4 「LAN 設定 (有線)」を選んで決定します

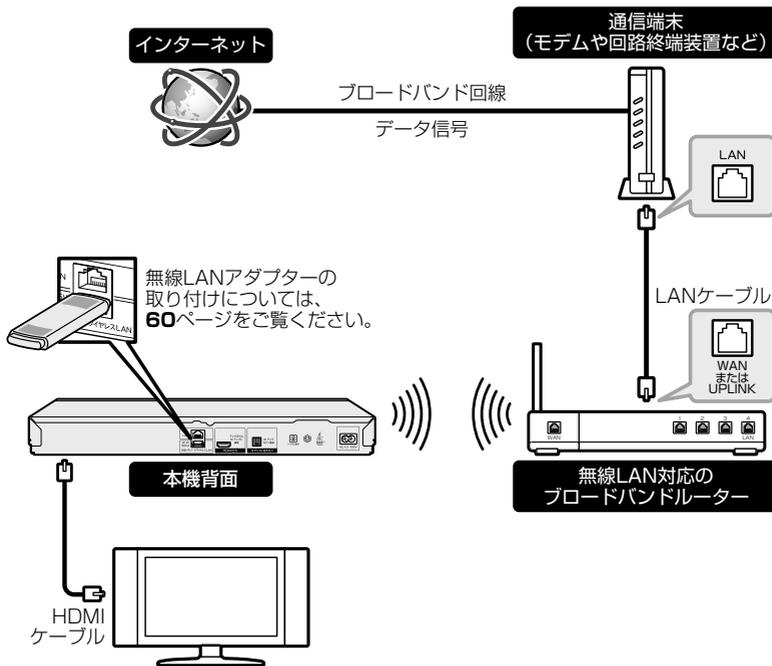
- 「初期化する」を選んで決定すると、LAN 設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

5 71 ページ「LAN 設定を行う（有線）」の手順 2 ～ 72 ページ手順 8 を行い、再設定します

無線 LAN 設定の前に

- 本機を無線で LAN に接続するには、無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（アクセスポイント）への接続設定が必要です。
- 無線 LAN 接続には本機と通信ができる無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
  - ・本機は、無線 LAN 高速化規格 IEEE802.11n 、および無線 LAN 規格 IEEE802.11a/g/b に対応しています。（IEEE802.11n での接続を推奨します。）
  - ・対応チャンネル 2.4GHz 帯：1 ～ 13ch
    対応チャンネル 5GHz 帯：36 ～ 48ch（W52）、52 ～ 64ch（W53）、100 ～ 140ch（W56）
  - ・無線 LAN の接続方式について、詳しくはお使いの機器（ブロードバンドルーターなど）のメーカーにお問い合わせください。
  - ・無線 LAN は、すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
  - ・無線 LAN は、距離や障害物の影響で伝送速度がさがったり、同一周波数を使う機器の影響でつながらないことがあります。
  - ・本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。

▼接続例（回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。）

ご注意

・プロバイダと LAN 接続の契約をしていない場合は、LAN 接続での双方向サービスが楽しめません。

次ページへつづく ▶▶▶

■無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届いてしまいます。セキュリティに関する設定を行うことで、以下のようなことを防げます。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）。
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）。
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）。
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用してください。

■セキュリティ方式について

本 機 は、WEP、WPA-PSK（TKIP/AES)、WPA2-PSK（TKIP/AES）のセキュリティ方式に対応しています。お使いのブロードバンドルーターが対応しているセキュリティ方式をご確認のうえ、より強固なセキュリティ設定をされることを推奨します。
ホームネットワーク機能をお楽しみいただくには、802.11n（5GHz）をお使いのうえ、セキュリティ方式を「AES」に設定してください。

セキュリティ方式		説明
WEP		WEPキーと呼ばれる暗号化キーでデータを暗号化する方式です。
WPA-PSK	TKIP	それぞれに強力な暗号化の規格であるTKIPと、さらに強力な暗号化の規格であるAESがあります。
	AES	
WPA2-PSK	TKIP	
	AES	

■セキュリティキー（暗号化キー）について

各セキュリティ方式を設定する際に、暗号化を行うための鍵であるセキュリティキー（暗号化キー）の入力が必要となります。お使いのブロードバンドルーターの取扱説明書をご確認のうえ、セキュリティキー（暗号化キー）を入力してください。

・本機ではセキュリティ設定を行わないと、無線 LAN はご使用できません。

LAN 設定を行う（無線）

1 71 ページ「LAN 接続方法を選ぶ」の手順 1 ～ 3 を行います

2 「LAN 設定（無線）」を選んで決定します

3 「変更する」を選んで決定します

- 利用可能なアクセスポイントが表示されます。
- 「初期化する」を選んで決定すると、LAN 設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

各種設定［通信設定ーLAN設定(無線)］
LAN設定(有線)
LAN設定(無線)
LAN接続方法
IPコントロール設定
BD再生時のインターネット接続の設定を行います。
MACアドレス：-:-:-:-:-:-
アクセスポイント しない
IPアドレス 自動設定
ネットマスク 自動設定
ゲートウェイ 自動設定
DNS 自動設定
変更する
初期化する

4 利用するアクセスポイントを選んで決定します

各種設定［通信設定ーLAN設定(無線)］
LAN設定(有線)
LAN設定(無線)
LAN接続方法
IPコントロール設定
利用するアクセスポイントを選んでください。
xxxxxx
xxxxxx
接続機器変更

5 アクセスポイント名を入力して決定します

6 セキュリティ方式を選んで決定します

7 セキュリティキーを入力し、「次へ」で決定します

- セキュリティキーについては、お使いのルーターの取扱説明書をご覧ください。

8 「テスト実行」を選んで決定します

- アクセスポイントに接続できない場合は、手順3に戻ります。お使いのルーターの接続状況をご確認ください。

9 IP アドレス設定、DNS のアドレス設定を行います。

- **72** ページ手順4～8の操作を行い、設定してください。

10 設定内容を確認し、「テスト実行」または「完了」を選んで決定します

- テスト実行は、IP アドレスを自動で取得する設定のときのみです。IP アドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。
- テストが完了すると手順3に戻ります。設定を終わる場合は 終了 を押します。
- 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。

パソコンなどから本機をコントロールする(IP コントロール)

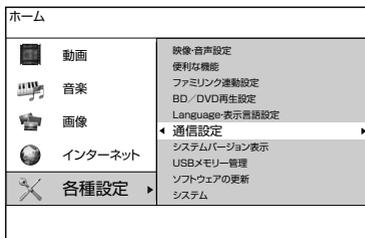
- IPコントロールとは、パソコン、iPhone(iPod touch)やAndroid端末などからLAN経由で本機をリモートコントロールできる機能です。
- iPhone(iPod touch)やAndroid端末のコントローラーの仕様や設定方法はそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- IPコントロール機能を使用するときは、あらかじめLAN接続とLAN設定を行ってください。
- パソコン(PC)からご利用になる場合は、パソコン(PC)を使いなれたかたのご利用をお願いします。

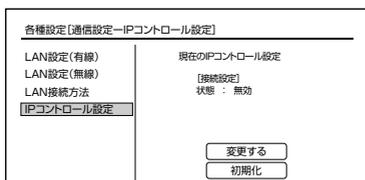
IP コントロールを設定する

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

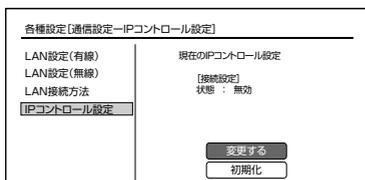
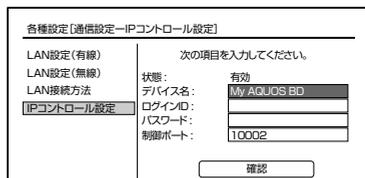
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

- ▶を押しても決定できます。

3 「通信設定」を選んで決定します

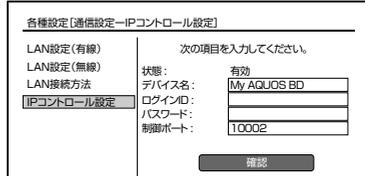
4 「IP コントロール設定」を選んで決定します

5 「変更する」を選んで決定します

6 「有効」を選んで決定します

各種設定[通信設定ーIPコントロール設定]
LAN設定(有線)
LAN設定(無線)
LAN接続方法
IPコントロール設定
IPコントロールを有効にしますか?
有効
無効

7 必要な情報を入力します

設定項目	内容	初期値
デバイス名	本機の名称を英数字で入力します(最大12文字)。お好みの名前に変更できます。	My AQUOS BD
ログインID	本機にアクセスするときのログインIDを英数字(最大8文字)で入力します。	−
パスワード	本機にアクセスするときのパスワードを英数字(最大8文字)で入力します。	−
制御ポート	使用するポート番号を入力します。1025~65535の範囲で設定できます。	10002

- 「デバイス名」は、ターミナルソフトなどを使い接続する際に必要となる場合があります。
- 「ログイン ID」、「パスワード」は、ターミナルソフトなどで接続する際に必要となります。
- 「制御ポート」は、ターミナルソフトなどに入力する値を設定してください。

8 「確認」を選んで決定します

各種設定[通信設定ーIPコントロール設定]
LAN設定(有線)
LAN設定(無線)
LAN接続方法
IPコントロール設定
次の項目を入力してください。
状態： 有効
デバイス名： My AQUOS BD
ログインID：
パスワード：
制御ポート： 10002
確認

9 設定を終了します

10 iPhone(iPod touch) や Android 端末でコントローラの設定をします

- パソコンなどのターミナルソフトから本機を IP コントロールするときは、本機の設定は 1 ～ 7 を行います。

パソコンからコントロールする

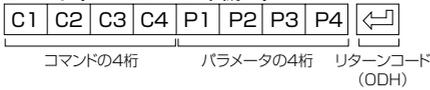
パソコンのターミナルソフトで本機に制御コマンドを送信し、本機をコントロールすることができます。

■ 通信のしかた

- パソコンから LAN ケーブルを通じてコマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。
- 本機がコマンドを処理すると、パソコンにレスポンスコードを送ります。

ご注意

- **複数のコマンドを連続して送信しないでください。連続してコマンドを送る場合は、本機からのレスポンスコードを受信してから、次のコマンドを送ってください。**

コマンド（パソコンから本機へ）

レスポンス（本機からパソコンへ）

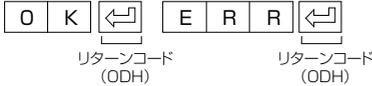
- 正常時

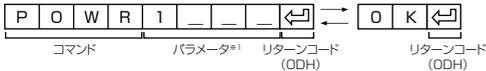
O K ⏎

リターンコード
（ODH）

- 問題のあるレスポンス（通信エラーや不正なコマンド）

E R R ⏎

リターンコード
（ODH）

■ コマンド一覧

例：本機の電源を入れる場合

機能	コマンド				パラメータ※1			
電源入※2	P	O	W	R	1	_	_	_
電源切	P	O	W	R	0	_	_	_
再生	D	P	L	Y	_	_	_	_
停止	D	S	T	P	_	_	_	_
早送り	D	F	W	D	_	_	_	_
早戻し	D	R	E	V	_	_	_	_
トップメニュー	D	T	M	N	_	_	_	_
上 ▲	D	U	P	K	_	_	_	_
下 ▼	D	D	W	N	_	_	_	_
左 ◀	D	L	F	T	_	_	_	_
右 ▶	D	R	G	T	_	_	_	_
決定	D	E	N	T	_	_	_	_
戻る	D	R	E	T	_	_	_	_
終了	D	E	X	T	_	_	_	_
ホーム	D	S	E	T	_	_	_	_
ポップアップメニュー	D	P	M	N	_	_	_	_
スキップ ⏮	D	S	K	B	_	_	_	_
スキップ ⏭	D	S	K	F	_	_	_	_
一時停止	D	P	U	S	_	_	_	_
開／閉	D	E	J	T	_	_	_	_
機能	D	F	N	C	_	_	_	_
リピート	D	R	E	P	_	_	_	_
機器名	B	D	N	M	1	_	_	_
型名	M	N	R	D	1	_	_	_
ソフトウェアバージョン	S	W	V	N	1	_	_	_
IP プロトコルバージョン	I	P	P	V	1	_	_	_

※ 1 パラメータの「_」はスペースを入力します。

※ 2「電源入」はクイック起動待機状態のときに受け付けます。

USB メモリーのデータを消去する

BD-LIVEからダウンロードしたデータは、USBメモリーに保存されています。保存されたデータは、次の手順で消去することができます。

重要

- USBメモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- データの消去中は、USBメモリーを取り外さないでください。
- データの消去中は、電源プラグを抜かないでください。

1 本体前面または背面の外部メモリー端子に、USB メモリーを取り付けます

2 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

3 「各種設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

4 「USB メモリー管理」を選んで決定します

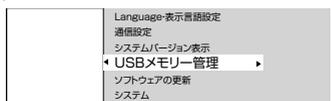
- ▷を押しても決定できます。

Language·表示言語設定
通信設定
システムバージョン表示
USBメモリー管理
ソフトウェアの更新
システム

5 「消去する」または「初期化する」を選んで決定します

消去する　USBメモリー内に入っているBDビデオのデータを消去します。
初期化する　保護されているコンテンツを含むUSBメモリー内に入っているすべてのデータを消去します。

「消去する」 保存されているデータのうち、BDビデオのデータのみを消去します。
「初期化する」 BDビデオデータに加え、更新用ソフトウェアデータ、その他のデータが全て消去されますのでご注意ください。

- ソフトウェアを更新（**79 ～ 82** ページ）した後、不要となった更新用ソフトウェアのみを消去したいときは、パソコンで消去してください。

6 「する」または「しない」を選んで決定します

する
しない

- 「する」を選ぶと消去または初期化が始まります。

7 「確認」で決定します

8 設定を終了します

- ホーム を押しても終了できます。

ソフトウェアを更新する

- 本機のソフトウェアの更新が必要となったときは、シャープホームページ内のサポートステーションでご連絡いたします。
【シャープサポートステーション⇒　http://www.sharp.co.jp/support/】
- 必要なソフトウェアをダウンロードして USB メモリーに書き込んでおくと、本機の外部メモリー端子からソフトウェアの更新が行えます。また、インターネット経由でもソフトウェアの更新ができます。

重要
- USBメモリーを取り付ける場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- データの更新中は、USBメモリーを取り外さないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

ふたを開ける

■ ソフトウェアの自動更新を設定する

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

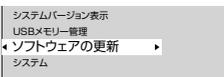
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 「各種設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

3 「ソフトウェアの更新」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

システムバージョン表示
USBメモリー管理
ソフトウェアの更新
システム

4 「自動更新設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

- 設定後、毎回電源を入れるたびに自動更新を行います。

次ページへつづく ▶▶▶

■ インターネットでソフトウェアを自動更新する

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。
- 本機は自動的にインターネットに接続し、最新の更新用ソフトウェアを検索します。検索中は「アクセス中」が点滅します。
- 検索が終わると、本機のソフトウェアの現在のバージョンと最新の更新データのバージョンが表示されます。

2 「する」を選んで決定します

- ソフトウェアの更新が始まります。終了するまでは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

3 本機の電源を「切」にします

■ USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

お知らせ

- USB メモリーにはアップデートファイルのみを保存してください。
- アップデートファイルは、ルートディレクトリに直接置いてフォルダを作らないでください。
- USB メモリーを PC で初期化するときは、下記の設定で行ってください。
  ファイルシステム：FAT32
  データ空容量　　：デフォルト値

1 本体前面の外部メモリー端子に、更新用ソフトウェアを書きこんだ USB メモリーを取り付けます

2 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

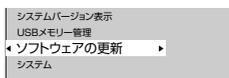
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。
- ディスクが入っているときは取り出してください。

3 「各種設定」を選んで決定します

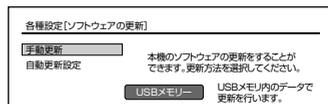
- ▷を押しても決定できます。

4 「ソフトウェアの更新」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

システムバージョン表示
USBメモリー管理
ソフトウェアの更新
システム

5 「手動更新」を選んで決定します

6 「USB メモリー」を選んで決定します

各種設定［ソフトウェアの更新］
手動更新
自動更新設定
本機のソフトウェアの更新をすることができます。更新方法を選択してください。
USBメモリー　USBメモリ内のデータで更新を行います。

7 暗証番号を設定しているときは 暗証番号を入力します

- 数字ボタン ⓪ ～ ⑨ で、設定した暗証番号を入力します。

暗証番号を入力してください。
－ － － －

8 「確認」で決定します

①

・本機のソフトウェアの現在のバージョンとUSBメモリーに入っている更新データのバージョンとが表示されます。更新データで本機のソフトウェアを更新するには、「開始する」を選んで決定します。

②

・USBメモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データがUSBメモリーの中にみつからないときは、エラーメッセージが表示されます。USBメモリーのデータを確認し、USBメモリーを正しく接続し直してください。

9 「確認」で決定します

・ソフトウェアの更新が始まります。終了するまでは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

ソフトウェアの更新中の画面が表示されるまでの間、
一時的に画面が暗くなります。しばらくお待ちください。
その間、電源を切にしたりリセットしないでください。

確認

・ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USBメモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

10 本機の電源を「切」にします

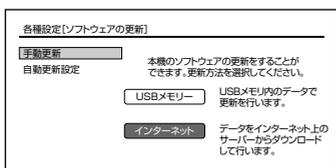
11 アップデート終了後、USBメモリーを本機から取り外します

次ページへつづく ▶▶▶

■ インターネットでソフトウェアを手動更新する

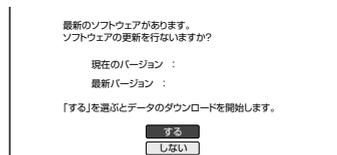
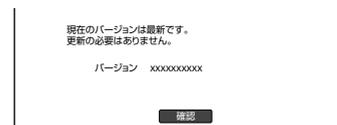
1 79 ページの手順 1 ～ 3 を行います

2 「手動更新」を選んで決定します

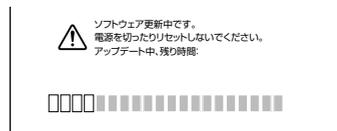
3 「インターネット」を選んで決定します

4 暗証番号を設定しているときは 暗証番号を入力します

• 数字ボタン ⓪ ～ ⑨ で、設定した暗証番号を入力します。

5 インターネットに接続し、最新の更新用ソフトウェアを検索しているときは「アクセス中」が点滅します

• 本機のソフトウェアの現在のバージョンと最新の更新データのバージョンとが表示されます。更新データで本機のソフトウェアを更新するには、「する」を選んで決定します。

• 最新のデータが更新されているときはメッセージが表示されます。

・インターネット接続に失敗した場合は、インターネット接続(→**59～60**ページ)とLAN設定(→**71～75**ページ)を確認してください。

6 「確認」で決定します

• ソフトウェアの更新が始まります。終了するまでは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

• ソフトウェアの更新に失敗した場合は、手順 1 から操作をし直し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

7 本機の電源を「切」にします

こんなときは

この章では、再生できないときなど、困ったときに確認していただきたいことを説明しています。

本機で使えるディスクについて

故障かなと思ったら

よくあるお問合せ

保障とアフターサービス

お客様ご相談窓口のご案内

仕様

登録商標

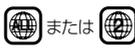
用語の解説

さくいん

本機で使えるディスク・USB 機器について

本機で再生できるディスク

・本機で再生できるディスクは下記の通りです。それ以外のディスクは再生できません。

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコード Ⓐ または、「All Region（オールリージョン）」（Ⓐ を含む）のディスク	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-RE※2	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	BDAVフォーマット※1	音声+映像（動画）
BD-R※2	Ver. 1.1、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3※2 Ver. 1.3 LTH TYPE	12cm盤	BDAVフォーマット※1	音声+映像（動画）
DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット AVCHDフォーマット※3 （ファイナライズ済みディスク） DivX Plus™ HD （H.264/MKV）	音声+映像（動画）
			JPEGファイル	画像
DVD+RW※4, DVD+R, DVD+R DL		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット※3 （ファイナライズ済みディスク）	音声+映像（動画）
音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R、CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット MP3ファイルフォーマット	音声
			JPEGファイル	画像

※1　当社のBDレコーダーで記録した長時間（H.264記録）ディスクも再生可能です。
※2　BD-RE XL、BD-R XLディスクは再生できません。
※3　再生できるディスクは、ビデオカメラで撮影したディスクです。パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。
※4　JPEGファイル、MP3ファイル、DivX Plus™ HDファイルなどは再生できません。

DIVX ビデオについて

DivX® は、DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオの再生に対応した正規の DivX Certified® (DivX 認証) デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX 形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。プレミアムコンテンツを含む最高HD 1080pのDivX® およびDivX Plus ™ HD(H.264/MKV)ビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX 認証) 取得済み。

DIVX ビデオオンデマンドについて

DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューの DivX VOD セクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.com をご覧ください。

本機で再生できるその他のメディアフォーマット

メディアフォーマット ＼ 再生できる条件	録画フォーマット	再生できる内容
USBメモリー	DivX Plus™ HD (H.264/MKV)	音声+映像 （動画）
	JPEGファイル	画像
	MP3ファイルフォーマット	音声

• DivX のコンテンツやファイルにより、再生できない場合があります。

本機で再生できないディスク

• 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

BD ビデオ	• リージョンコード「A」、「A」を含むもの、「All Region（オールリージョン）」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）リージョンコードの記載がないディスク。（NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	• BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。
BD-RE XL BD-R XL	• BD-RE XL、BD-R XL ディスクは本機で再生ができません。
DVD ビデオ	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） • 無許諾のディスク（海賊版のディスク） • 業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-R DVD+R	• データが記録されていないディスク • 記録に使用したレコーダーまたは PC によっては、再生できません。 • ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク
CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽 CD フォーマット、MP3 または JPEG 以外のフォーマットで記録されたディスクや、音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、再生できない場合があります。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
ビデオ CD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

DVD ディスクの再生について

• ディスクは、あらかじめ録画した機器でのファイナライズ処理が必要です。
• DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で再生できないディスク

• 次のディスクは、本機で再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、BD-RE XL、BD-R XL、HD DVD、CDG※1、フォト CD、CD-ROM、CD-TEXT※1、CD-EXTRA※1、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-RAM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

※ 1 音声のみ再生できます。

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。

• 「よくあるお問い合わせ」（→ **91** ページ）も、あわせてご覧ください。

操作ができない

操作ボタンを受けつけない。

• リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **17** ページ）

• リモコンの「（キーロック）」が設定されていないかご確認ください。（→ **16** ページ）

• キーロック設定されているときに操作したときは、本体のメディアサークルが青点滅表示となり、キーロック設定されている事をお知らせします。

操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない。

• 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。

• 電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体表示部に「RESEt」が表示されるまで本体の電源ボタンを押し続けてください。

電源ボタンを押し続けると電源が「切」になります。電源ボタンから手を離し、待機ランプが点灯してから再度電源を入れ直してください。（待機ランプが点滅しているときはリセット処理中ですので、点灯するまでお待ちください。）

• 本体の電源ボタンを押し続けてリセットしても改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。

※ 状況が改善されない場合は、販売店またはお客様相談センター（→ **93** ページ）にご相談ください。

極端に寒い場所でお使いのとき。

• 使用温度範囲内でお使いですか。（→ **94** ページ）

電源が入らない。

• 電源プラグ（→ **18** ページ）をコンセントに正しく接続してください。それでも直らない場合は、本機をリセット（左記参照）してください。

• 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約 1 分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。

• 電源ボタンは、電源ランプが赤点灯してから押してください。

勝手に電源が切れる。

• 「無操作オフ設定」（→ **63** ページ）が「する」に設定されていませんか。「する」に設定されている場合、何も操作していない状態が約 10 分続くと自動的に電源が切れます。

映像が映らない

画面が映らない。

• 接続が正しいか確認してください。（→ **54 〜 55、57 〜 58** ページ）

• テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。

• HDCP に対応していない DVI 機器には映像が映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。）

• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。

• 電源「切」の状態になっていませんか。

BDやDVDディスクの画面が映らない。

• BDやDVDディスクをクリーニングしてください。（→**12**ページ）

映像が正常に映らない

画面に四角のノイズ（モザイク）が出る。

- デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

映像が停止する。

- 本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。

HDMI 出力設定が正しいですか。

- 接続を確認してください。

HDMI ケーブルでテレビと接続しているが映像が映らない、正常な映像が映らない。

- 電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。

  電源を入れた状態で誤って HDMI ケーブルを抜いたときは、電源を切ってから HDMI ケーブルを接続し直し、電源を入れてください。

音声

スピーカーから音が出ない、音が歪む。

- 一時停止またはスロー再生 / 早送り / 早戻し中は、音声が出ません。
- 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。
- テレビまたは AV アンプなどの音量が「MIN（最小）」になっている場合はボリュームを上げてください。
- 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
- BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **12** ページ）
- BD または DVD ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。

2 つの音が混ざって聞こえる。

- 音声切換が間違っていませんか。リモコンの 音声 を押し、音声を切り換えます。（→ **42** ページ）

他のレコーダーで録画した 5.1ch 音声が正しく再生されない

- 他のレコーダーで録画した音声がマルチチャンネル音声の場合正しく再生されない場合があります。

再生

つづき再生が働かない。

- ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
- 音楽用ＣＤはつづき再生が働きません。つづき再生したいときは、一時停止してください。
- 市販の BD ビデオ、DVD ビデオ、ファイナライズされたビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク、音楽用 CD は、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと、つづき再生されません。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

市販の BD ビデオまたは DVD ビデオをセットしたが再生が自動的に始まらない。

- ディスクが自動再生に対応しているか確認してください。

市販の BD ビデオまたは DVD ビデオを再生中、吹き替え音声が切り換わってしまう。

- 市販の BD ビデオまたは DVD ビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。

他の DVD レコーダーで録画・編集した DVD ディスクが途中で再生されなくなる。

- 他の DVD レコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12 時間以上再生できません。
- DVD-R DL（2 層）ディスクは再生できない場合があります。

BD や DVD ディスクが再生できない。

- BD ビデオまたは DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。（→ **84** ページ）
- BD-RE Ver.1.0 は再生できません。
- DVD ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。
- ディスクをクリーニングしてください。（→ **12** ページ）
- ディスクを正しくセットしてください。（→ **20** ページ）
- 本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。（→ **12** ページ）
- PAL/SECAM 方式のディスクは再生できません。
- ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。

静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない。

- DVD-RW/-R ディスク（VR フォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。
- 市販の BD ビデオはコマ戻し再生はできません。

早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない。

- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- タイトルをまたぐサーチはできません。タイトルの切り換わり部分になると、再生状態になります。

次ページへつづく ▶▶▶

再生（つづき）

二ヶ国語の音声が切り換えられない。

- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。

BD や DVD の映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる。

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っている DVD ディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

スロー再生がうまくいかない。

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。
- 市販の BD ビデオは逆スロー再生はできません。

再生できないタイトルがある。

- 正常に録画されなかった映像は再生できません。
- 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。

データ放送が再生できない。

- BD に録画された連動データ放送は再生できません。

録画したデジタル放送の字幕が表示できない。

- BD に録画された番組の字幕は表示できません。

タイトルリストのタイトル名に「＊」が表示される。

- 本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」と表示されます。
- 本機で表示できない言語のタイトル（日本語･英語以外）は、「プログラム 1」などと表示されます。

3D 視聴

3D 映像を楽しめない。

- 3D に対応したテレビと 3D メガネが必要です。
- 3D 対応 BD プレーヤー（本機）のみでは 3D 映像は見られません。

3D の再生ができない。

- 接続しているテレビは 3D 対応テレビですか。
- 3D 対応テレビと接続するときは付属の HDMI ケーブルまたは市販の HDMI ケーブル（ハイスピード対応）で接続してください。
- 本機の 3D 切換設定が「オート」に設定されているか確認してください。（→ **27** ページ）
- 3D 対応テレビの設定が正しいか確認してください。（お使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。）
- 再生しているタイトルは 3D 映像のタイトルですか。

市販のシアターラック（オーディオ）機器を経由して HDMI 接続しているが 3D 映像が楽しめない。

- シアターラック（オーディオ）機器が 3D に対応しているか確認してください。
- HDMI ケーブル（ハイスピード対応）で接続しているか確認ください。

市販の 3D 対応 BD ソフトを視聴していたら、再生がいったん停止した。

- 3D 映像の再生と、ホームネットワークの再生は同時に行えません。

市販の 3D 対応 BD ソフトを視聴していたら、再生が 2D 映像になる。

- ホームネットワークの再生中、早送り／早戻し中は 2D 映像となります。

本体の音／動作

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう。

- 市販の BD ビデオや DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。（→ **84** ページ）
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。（→ **84** ページ）
- BD または DVD ディスクを正しくセットしてください。（→ **20** ページ）
- 汚れや傷がないか確認してください。
- BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **12** ページ）

ディスクトレイが出ない。

- 本体表示部に「RESEt」が表示されるまで（約 8 秒間）本体の電源ボタンを押し続けて、本機をリセットしてください。電源が切れ、待機ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。
- 上記の操作を行ってもディスクが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センター（→ **93** ページ）にお問い合わせください。

ディスクをセットすると「ピピッ」と音がする。

- ディスクを読み込むための音で故障ではありません。

リモコン

リモコンで操作できない。	画面が止まり、リモコンで操作できない。
・リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **17** ページ） ・リモコンの乾電池を新しいアルカリ乾電池と交換してください。（→ **17** ページ） ・キーロックが設定されていませんか。（→ **15**、**16** ページ）	・本体の電源ボタンで電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。 ・本体の電源ボタンを「 RESEt 」が表示されるまで押し続けリセットしてください。 ・ディスクに傷や汚れがありませんか。ディスクを確かめてください。
本機のリモコンで操作すると、他の DVD 機器（当社製）やテレビも動作してしまう。	
・リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	

ファミリンク機能（ファミリンクについては、ファミリンク対応アクオスの取扱説明書をご覧ください。）

映像が映らない、正常な映像が映らない。	ファミリンク機能が正常に働かない。
・電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししないでください。映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。	・電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMI ケーブルの接続が済んでから行ってください。 ・ファミリンク機能が正常に働かなくなったときは、次の手順で接続と設定を確認してください。 　・本機の電源を「切」にする 　・HDMI ケーブルの接続を確認する 　・本機の電源を「入」にする

その他

ホーム画面が表示されない。	操作ができない。
・メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。 ・再生中は、ホーム画面を表示できません。	・リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **17** ページ） ・「操作ができない」（→ **86** ページ）をご覧ください。
本機の設定内容が消える。	**MD とデジタル接続して CD から MD に録音できない。**
・電源が入っている状態で、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れたときは、「各種設定」で設定した内容が工場出荷状態となる場合があります。	・本機の光デジタル出力端子から出力される音声は複製ができません。
使用中に本体が熱くなる。	**本機に接続した USB メモリーをパソコンで見たとき、フォルダやファイルが増えている。**
・本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。	・本機の外部メモリー端子に USB メモリーを接続したときは、BD-LIVE のデータを保存するため、フォルダ「_SHLS」が自動で作成されます。そのため、パソコン等で見たときは上記のフォルダやファイルが表示されます。

次ページへつづく ▶▶▶

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません。	・本機で再生できないディスクが入っているとき	・ディスクを確かめて入れ直してください。
対応していないディスクです。	・ディスクに傷があるときや本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたときなど、表示が出てきます	
この操作はできません。	・誤った操作をしたとき	――
ディスクが入っていません。	・ディスクが無いとき、キズや裏表逆などで読み込めないとき、表示が出てきます	・ディスクを確かめて入れ直してください。
ディスクを読み込めませんでした。	・リージョン（再生可能地域）番号以外のディスクを入れたとき ・本機で再生できないディスクを入れたとき ・表裏を間違えて入れたり、汚れや傷などで読み込めないディスクを入れたとき	・再生できるディスクか確認してください。 ・ディスクに傷や汚れが無いか、表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
このディスクは BD LIVE に対応していますが、設定で禁止されているのでインターネットへの接続は行いません。	・「ホーム」-「各種設定」-「BD/DVD 再生設定」-「BD-LIVE 設定」が「禁止する」に設定されている状態で BD-LIVE に接続しようとしたとき	・「BD-LIVE 設定」を「条件付き許可」または「許可する」に設定を変更してください。
この写真は再生できません。	・JPEG 以外の写真ファイルを再生しようとしたとき	・写真ファイルは、JPEGファイルか作成した機器で確認してください。
写真が再生できません。	・ファイルが壊れているときや、ディスクが読み込めないとき ・フォルダ構造が本機で対応できていない階層となっているとき	・ディスクの状態を確かめてください。 ・本機が対応しているフォルダ階層は 1 階層のみです。
ディスクが入っていません。 JPEG の写真を保存した CD を入れてください。	・ディスクが入っていない状態で画像を選択したとき	・JPEG ファイルが書き込まれている CD-R/CD-RW を入れてください。
正しいディスクが入っていません。JPEG の写真を保存した CD を入れてください。	・BD や DVD など JPEG 以外のディスクで画像を選択したとき	・JPEG ファイルが書き込まれている CD-R/CD-RW を入れてください。
更新用ソフトウェアのファイルをコピーした USB メモリーを接続してください。	・USB メモリーを装着せずにソフトウェア更新を行おうとしたとき	・更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
USB メモリー内に更新用ソフトウェアのファイルが見つかりませんでした。USB メモリーにファイルがコピーされているか確認してから再度ソフトウェアの更新を行なってください。	・ソフトウェア更新用のデータが書き込まれていない USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
ソフトウェアの更新ができませんでした。	・ソフトウェア更新用のデータが、既に本体に書き込まれているソフトウェアより古いバージョンとなっているとき ・データが正しく書き込まれていない USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
USB メモリー内の更新用ソフトウェアファイルを確認してから、もう一度ソフトウェアの更新を行なってください。	・ソフトウェア更新用のデータが既に本体に書き込まれているソフトウェアより古い USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
更新用ソフトウェアが正しいファイルではありません。	・本機以外のソフトウェア更新データが書き込まれている USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。

更新用ソフトウェアの正しいファイルをコピーしてからもう一度ソフトウェアの更新を行なってください。	・本機以外のソフトウェア更新データが書き込まれている USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
USB メモリー内の更新用ソフトウェアはこの製品用のものではありません。	・本機以外のソフトウェア更新データが書き込まれている USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
再生できるタイトルがありません。	・タイトルの記録されていないディスクを再生しようとしたとき	・タイトルが録画されているディスクを入れてください。
対応していないディスクです。ディスクを確認してください。	・リージョン（再生可能地域）番号以外のディスクを入れたとき ・本機で再生できないディスクを入れたとき	・再生できるディスクか確認してください。 ・表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
ディスクを確認してください。	・表裏を間違えて入れたり、汚れや傷などで再生できないディスクを入れたとき	・ディスクに傷や汚れが無いか、表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
本機ではこのディスクを使用できません。	・本機で再生できないディスクを入れたとき ・表裏を間違えて入れたり、汚れや傷などで再生できないディスクを入れたとき	・再生できるディスクか確認してください。 ・ディスクに傷や汚れが無いか、表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
現在はこの操作はできません。ディスクを取り出してから行ってください。	・ディスクが入っている状態で、設定が禁止されている BD-LIVE 設定などを行おうとしたとき	・ディスクを取り出してから設定してください。

よくあるお問い合わせ

「故障かな？と思ったら」（→ **86** ページ）も、あわせてご覧ください。

再生

海外で購入した BD ビデオは再生できますか？

- リージョンコード Ⓐ または「All Region（オールリージョン）」（Ⓐ を含む）が再生できます。リージョンコードの記載がない (リージョンコードが設定されていない)BD ビデオは NTSC 方式の場合、再生できることがあります。
- PAL、SECAM 方式の BD ビデオは再生できません。

海外で購入した DVD ビデオは再生できますか？

- リージョンコード ALL または ② の含まれる DVD ビデオが再生できます。
- PAL、SECAM 方式の DVD ビデオは再生できません。

ファミリンク

ファミリンク機能は使えますか？

- HDMI ケーブルでシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」と本機を接続してください。本機で再生を開始すると自動でテレビの入力が切り換わるワンタッチ再生や、テレビの電源を切ると本機の電源も自動で切れるなどの連動操作が行えます。
  ファミリンクについて詳しくは、ファミリンク対応アクオスの取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（→ **93** ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

●「故障かな？と思ったら」（→ **86** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

・品　　　名　：ブルーレイディスクプレーヤー
・形　　　名　：BD-HP35
・お買い上げ日　（年月日）
・故障の状況　（できるだけくわしく）
・ご　住　所　（付近の目印も合わせてお知らせください）
・お　名　前
・電話番号
・ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を!
こんな症状はありませんか?
・電源コードやプラグが異常に熱い。
・映像が乱れたり、きれいに映らない。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼、及び万一、製品よる事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

使い方や修理のご相談など

※「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の〈補足〉をご覧ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜：9:00～20:00　●日曜・祝日：9:00～17:00　（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2011.4）

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

補足　「修理品引き取りサービス」のご案内。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用内容

※お申し込みの前にご確認ください。
※サービスエリア：日本国内すべての地域。ただし、沖縄県全域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除きます。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（上記参照）にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の業者（ヤマト運輸）がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日は除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
■ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金（修理料金+利用料）をヤマト運輸に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

仕様

品名		ブルーレイディスクプレーヤー
形式		BD-HP35
一般	電源	AC100V、50/60Hz
	外形寸法	幅 430mm、奥行 198mm、高さ 49mm （突起部を除く）
	本体質量	約 1.7kg
	使用温度範囲	＋ 5℃～＋ 35℃
	使用湿度範囲	10%～ 80% （結露なきこと）
	動作姿勢	水平
再生	再生可能ディスク ※1※2	BD ビデオ、BD-RE Ver.2.1 SL（1 層）／ DL（2 層）、 BD-R Ver.1.1 SL（1 層）／ DL（2 層）、 BD-R Ver.1.2 SL（1 層）／ DL（2 層）、 BD-R Ver.1.2 LTH TYPE、BD-R Ver.1.3、 BD-R Ver.1.3 LTH TYPE、 DVD ビデオ、DVD-RW ※3、DVD-R ※3、DVD-R DL（2 層）※3、 DVD+RW ※4、DVD+R ※4、DVD+R DL（2 層）※4、 音楽 CD、CD-R（音楽 CD フォーマット、MP3、JPEG ファイル）、 CD-RW（音楽 CD フォーマット、MP3、JPEG ファイル）
接続端子	HDMI 出力	1 系統
	光デジタル音声出力	1 系統
	外部メモリー端子（USB 準拠）	2 系統（DC5V 500mA）
	LAN 端子	1 系統
付属品	リモコン、単 4 形乾電池 2 個、HDMI ケーブル、電源コード、無線 LAN アダプター、 取扱説明書（本書）※5、保証書	

※ 1　BD-RE Ver.1.0 は本機では使用できません。
　　　BD-RE Ver.2.1 でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
※ 2　BD-RE XL、BD-R XL ディスクは再生できません。
※ 3　ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※ 4　ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※ 5　日本語以外の説明書はありません。

消費電力		8W
待機時消費電力	クイック起動設定「しない」	0.4W
	クイック起動設定「する」	4W

無線 LAN アダプター	電源		DC5V (USB より給電) 500mA
	消費電力		最大 2500mW
	外形寸法		幅 30mm、奥行き 90mm、高さ 11mm (キャップ含まず)
	質量		22g(キャップ含まず)
	無線 LAN インターフェース	準拠規格	ARIB　STD-T71（5GHz 帯） ARIB　STD-T66（2.4GHz 帯） 小電力データ通信システム規格 無線 LAN 標準プロトコル IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g/ IEEE802.11n
		伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
	送信周波数範囲（中心周波数）		IEEE802.11b/g (n): 2412 ～ 2472MHz（1 ～ 13ch)、 IEEE802.11a(n): 5180 ～ 5320MHz、5500 ～ 5700MHz（36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）
	データ転送速度※6		IEEE802.11n : 20MHz Channel<GI=800ns> 130/117/104/78/52/39/26/13Mbps（mcs8-15） 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps（mcs0-7） IEEE802.11n : 40MHz Channel<GI=800ns> 270.0/243.0/216.0/162.0/108.0/81.0/54.0/27.0Mbps（mcs8-15） 135/121.5/108.0/81.0/54.0/40.5/27.0/13.5Mbps（mcs0-7） IEEE802.11n : 40MHz Channel<GI=400ns> 300.0/240.0/180.0/120.0/90.0/60.0/30.0Mbps（mcs8-15） 150.0/135.0/120.0/90.0/60.0/45.0/30.0/15.0Mbps（mcs0-7） IEEE802.11a : 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b : 11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps
	セキュリティ※7		WPA-PSK（TKIP/AES)、WPA2-PSK（TKIP/AES)、 WEP（128/64bit）

※6　理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。
※7　セキュリティが WPA-PSK（TKIP)、WPS2-PSK（TKIP)、WEP（128/64bit）の場合、IEEE802.11n での無線接続は対応しておりません。

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このブルーレイディスクプレーヤーは日本国内でご使用ください。電源電圧は AC100V、50/60Hz でご使用ください。
<This Blu-ray Disc Player is designed for use in Japan only.>

登録商標

商標・登録商標など

- 本製品は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD( )記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS社の登録商標です。
- DTS-HD Master Audio ¦ Essentialは、DTS社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS-HD, DTS-HD Master Audio ¦ Essential and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. ©DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc™ は商標です。
- "Blu-ray 3D"および Blu-ray 3D™ は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- BDXL™ は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- BD LIVE™ は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BONUS VIEW™ は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社、ソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、米国及びその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- DivX®、DivX Certified®、DivX Plus™ HD、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。
- cairo
- Curl
- DirectFB
- Droid Sans font
- Droid Sans Fallback font
- Fltk
- FreeType
- Giflib
- glib
- Icu
- Jpeg
- Libpng
- LibPThread
- Librt
- libsoup
- Libstdc++
- libxml2
- OpenSSL
- pango
- swfdec
- Webkit
- zlib
- linux kernel
- uClibc
- modutils
- NanoXML
- org.apache.oro.text.regex
- libsysfs
- mtd/jffs2
- ncurses
- libiconv
- libusb
- busybox
- bash
- libmpeg2
- libjpeg
- FontConfig
- org.apache.oro.text.regex (Apache licence v2.0)
- Droid Sans Japanese font (Apache licence v2.0)
- Droid Sans Fallback font (Apache licence v2.0)
- LibPThread, Libstdc++, Librt (GPL)

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

Original SSLeay License

BSD License

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

用語の解説

アルファベット

3D
人はものを見るときに右目・左目それぞれわずかに異なった映像を見ています。これを「視差」と呼び、脳の処理により奥行感や立体感を認知します。3D映像は、この「視差」を応用し、右目用、左目用の映像を交互に高速表示することにより、2つのイメージを立体感ある映像として認識させる技術です。3Dの視聴には、3Dに対応したテレビが必要です。

AAC（Advanced Audio Coding）
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格です。
地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4倍ほど圧縮効率が高くなっています。

ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に、信号を変換するための機器です。公衆電話回線網で使われるADSL信号と、LANで使われるイーサーネットの信号の変換をします。ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、事業者を変更した場合や、引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合には、同じADSLモデムがご利用いただけないことがあります。

AQUOS純モード
シャープ製ファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」に最適な画質で映像を楽しむための機能です。「アクオス」と本機をHDMIケーブルで接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき、本機のHDMI端子から「アクオス」に最適な画質で映像が出力されます。

BD-LIVE（BDライブ）
BDビデオの規格で、インターネットを利用して特典映像や字幕、ゲームなど、などさまざまなデータをダウンロードして楽しむことができます。

BONUS VIEW ™（ボーナス ビュー）
BDビデオに収録されている特典映像です。映画制作者のコメントやインタビューなどの映像が、本編を再生しながら小画面で表示し、楽しむことができます。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

DOLBY DIGITAL・PLUS
ドルビーデジタルを基に開発された、高音質・多チャンネル化が可能な音声方式です。7.1chに対応しています。従来のアンプでも、5.1chのドルビーデジタルビットストリームで出力することができます。

DOLBY TRUE HD
DVDオーディオで採用されている「MLPロスレス」の機能拡張版として開発された音声方式です。7.1chに対応しています。従来のアンプでも、5.1chのドルビーデジタルで出力することができます。

DTS
DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

JPEGファイル（Joint Photographic Experts Group）
静止画のデータを圧縮する方式の一つです。イラストなどのグラフィックよりも、写真などの画像を圧縮するのに向いた方式です。元の画像データに比べて、約1/10～1/100に圧縮できます。

MP3（MPEG Audio Layer 3）
音声圧縮方式の一つで音楽CD並の音質を保ったまま、データ量を約1/11に圧縮できる方式です。

USBメモリー（Universal Serial Bus）
USBとは、周辺機器を接続するための規格の一つです。USBメモリーは、パソコンなどUSB端子を持つ機器に手軽に接続できる外部メモリーです。本機では、BD-LIVE（BDライブ）対応のBDビデオを楽しむときにUSBメモリーを接続し、BD-LIVE（BDライブ）でダウンロードした映像などのデータを保存するために使います。

x.v.Color
x.v.Colorは人間の目で感知できるほとんどの色を再現し、従来と比べて広範囲の色を再現できます。

YouTube
インターネットで動画を共有するサービスの一つです。

あ行

オリジナル／プレイリスト

オリジナル
テレビ放送などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。

音声出力レベル
ドルビーデジタル音声を再生したとき、音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整する機能です。

か行

キーロック
リモコンで操作できないようにする機能です。誤って操作してしまうことを防ぐことができます。ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」に本機を接続している場合、ファミリンク機能によって本機が操作されてしまうことも防げます。

クイック起動
待機状態から電源ボタンを押すとすぐに起動できるようにする機能です。

コピーガード（コピー制御信号）
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

次ページへつづく ▶▶▶

さ行

視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送や BD ビデオ、DVD ビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

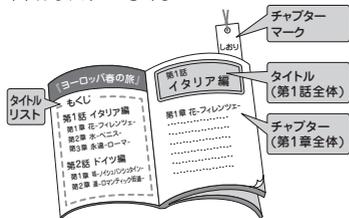
スライドショー再生
CD-R または CD-RW に保存されている写真（JPEG ファイル）をテレビ画面で楽しむための機能です。CD-R または CD-RW のフォルダを選んで再生操作をすると、フォルダ内の写真が自動的に次々と再生されます。

た行

タイトルとチャプター、ディスク内の構成
BD や DVD ディスクに録画されている番組のことを「タイトル（録画した番組）」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター（章・区切り）」という単位で構成されています。実際には、次のような構成になっています。

タイトルA
チャプター1 | チャプター2 | チャプター3
タイトルB
チャプター1 | チャプター2

タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。

- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- チャプターマークを付ける ＝ しおりをはさむ
- タイトルリスト ＝ もくじ

タイトルリスト
録画した番組が一覧で確認できる画面です。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

ディスクメニュー
DVD ビデオを再生するときに表示させるメニューです。字幕の言語や音声の種類などを選ぶことができます。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

ドルビーデジタル（5.1ch）
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

は行

ビデオフォーマット
市販の DVD プレーヤーで再生できる録画方式です。市販の DVD プレーヤーなどで再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファミリンク機能
ファミリンク機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されているテレビや BD プレーヤー、DVD レコーダー、AV アンプを制御するためのコントロール機能です。プレーヤーの再生操作に連動し、テレビの画面をプレーヤーの画面に切り換えるなどのことが行えます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。他機で録画したディスクにプレイリストが設定されているときは、プレイリストの再生が行えます。（本機ではプレイリストは作成できません。）

ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のネットワークに接続するための中継機器です。

プログレッシブ
とび越し走査（インターレース）しないで 1 フィールド目で 525 本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を 525 本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ポップアップメニュー
JavaScript を使った BD ビデオの機能です。再生を止めることなく BD ビデオに収録されたメニューを表示し、いろいろな操作を楽しめます。

ま行

マルチアングル
BD や DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
デジタル放送や BD、DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）
BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BD ビデオはリージョンコード A、DVD ビデオはリージョンコード 2 または ALL のソフトが再生できます。

リニア PCM 音声
BD・DVD・音楽用 CD に用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

さくいん

シャープはエコポジティブ。

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

グリーン材料 **すべての基板に無鉛ハンダを使用**

使用している基板すべてに鉛を含まないハンダを採用しています。環境に配慮したグリーン材料設計です。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎電源の切り忘れ防止機能を!

電源が入ったままの状態で、約10分間何も操作されないと、各種設定内の「無操作オフ設定」により、自動的に電源が切れるように設定できます。

MY家電登録のご案内

詳しくはホームページで→

SHARP i CLUBは、お客様がご愛用のシャープ製品について、便利な使い方や、製品のサポート・サービス、キャンペーンなど、一人ひとりに合ったサービスをご利用いただける会員さま向けサイトです。

ぜひ、ご登録ください。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン

シャープ お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談

ご相談の前に「故障かな?と思ったら」をご確認ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:**9:00～20:00** ●日曜・祝日:**9:00～17:00**（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.04)

「修理品引き取りサービス」のご案内

修理品引き取りサービスとは、電話で修理依頼をいただきますと、当社指定の運送業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

電話でのお申し込みにあたっては**93**ページの「ご利用料金」「お引き取り時間」「修理・お届け」を併せてご確認のうえご依頼ください。

お申し込み

【お客様相談センター】(0120-001-251)にお電話でお申し込みください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

0RA9036-A

TINSJA491WJQZ
11P04-CH-NG
Printed in China